

高槻市におけるアンケート結果、ヒアリング結果

目 次

1. 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングについて	1
1.1 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングの実施概要	1
1.1.1 実施概要	1
1.1.2 実施手順	1
1.2 参加者のプロフィール.....	1
1.2.1 性別及び年代	1
1.2.2 障害の程度及び障害の種別等.....	2
1.3 外出の状況	4
1.3.1 普段最もよくいく場所とその理由、外出頻度、交通手段外出の状況	4
1.3.2 高槻駅周辺でよく行く場所とその理由、外出頻度、交通手段	5
1.4 高槻駅周辺でよく行く場所におけるバリアフリー設備の利用状況	7
1.5 バリアフリー設備やサポート等に対する評価	9
1.5.1 バリアフリー設備やサポートがあることで、その施設を選ぶ（優先的に利用する）ことはありますか？	9
1.5.2 バリアフリー化によって、外出しやすくなったと感じますか？	10
1.5.3 以前に比べ、障害者に対する理解やサポートが充実したと感じますか？	11
2. 障害者ヒアリング	12
2.1 障害者ヒアリング実施方法	12
2.1.1 趣旨の説明.....	12
2.1.2 ヒアリング設問	12
2.2 ヒアリング実施結果.....	13
2.2.1 ヒアリング実施結果（車いす使用者）	13
2.2.2 ヒアリング実施結果（視覚障害者）	15
2.2.3 ヒアリング実施結果（知的障害者）	20
3. 高槻市における子ども連れへのアンケートについて.....	22
3.1 高槻市における子ども連れへのアンケートの実施概要.....	22
3.2 アンケート対象者の状況	22
3.2.1 子どもの状況	22

3.2.2	子育て総合支援センターまでの移動手段.....	22
3.3	高槻駅周辺でよく使う建物や場所について.....	23
3.4	子ども連れへの配慮やバリアフリー化の評価.....	25
3.4.1	子ども連れに配慮した設備があることでその施設を優先的に利用しますか？.....	25
3.4.2	バリアフリー化によって、子ども連れで外出しやすくなったと感じますか.....	25
3.4.3	以前に比べ、子ども連れに対する理解やサポートが充実したと感じますか.....	26
3.4.4	高槻駅周辺で子ども連れで移動している時に、歩道などを通行する上で不便を感じた経験 がありますか.....	26
3.5	ベビーカー等を利用して移動する際の経路について.....	27
4.	障害者、子ども連れアンケート共通項目の比較.....	28
4.1	バリアフリー化によって、外出しやすくなったと感じるか.....	28
4.2	以前に比べ理解やサポートが充実したと感じるか.....	29
5.	参考資料.....	31
5.1	障害者に対するアンケート票.....	31
5.2	子ども連れに対するアンケート票.....	35

1. 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングについて

1.1 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングの実施概要

1.1.1 実施概要

- 1)日 時:平成 26 年 1 月 20 日 (月) 15 : 00～17 : 00
- 2)場 所:高槻市 障害者福祉センター
- 3)対象者: 車いす使用者 10 名、視覚障害者 11 名、知的障害者の親 3 名
- 4)出席者: 高槻市 (吉岡氏、伊藤氏) JICE (伊藤、沼尻、鈴木、平山)

1.1.2 実施手順

40 人に対して一度にヒアリングすることは困難であることから、10 名程度ずつの 4 つのグルーピングをして実施する。

車いす使用者 : A グループ、B グループ、視覚障がい者 : C グループ、D グループのグループとすることでヒアリングを活性化させる。

<テーブル配置>

車いす A アンケート →ヒアリング	車いす B ヒアリング →アンケート	視覚 C アンケート →ヒアリング	視覚 D ヒアリング →アンケート
--------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------

- 1)受付を行い、名前を確認し、手書きの名札 (机上に設置する三角プレート) を作成。
- 2)参加者を 4 つのグループに分け、座って頂く。
- 3)本日の調査の主旨説明 : 高槻市 : 参加の御礼→JICE : 調査の主旨説明。本日の調査の進め方の紹介
- 4) 1 時間ごとにアンケートとヒアリングを交代する。
(ヒアリング対応者) 吉岡氏 (高槻市) + 伊藤 (JICE)、伊藤氏・江嶋 (高槻市) + 沼尻
(アンケート対応者) 鈴木 (車いす使用者)、平山 (視覚障がい者)

1.2 参加者のプロフィール

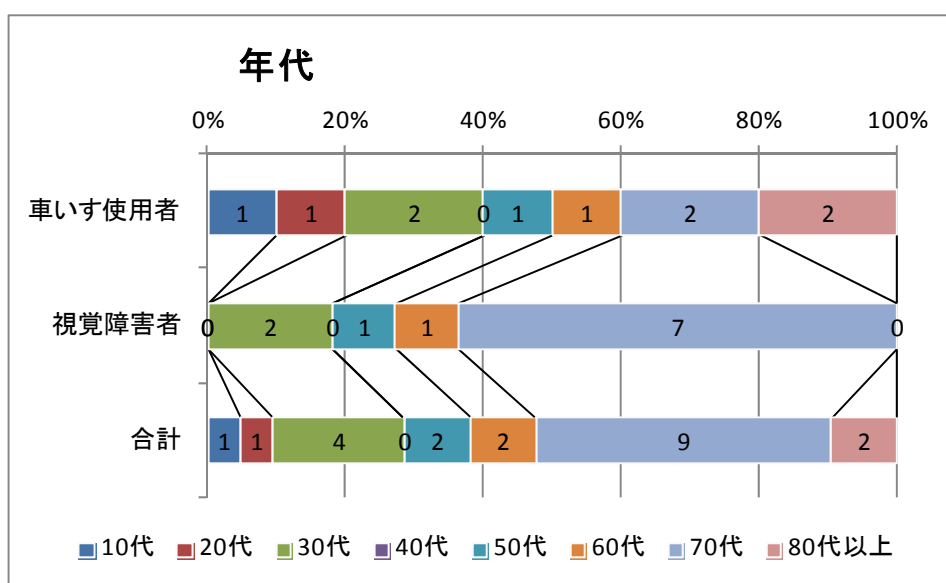
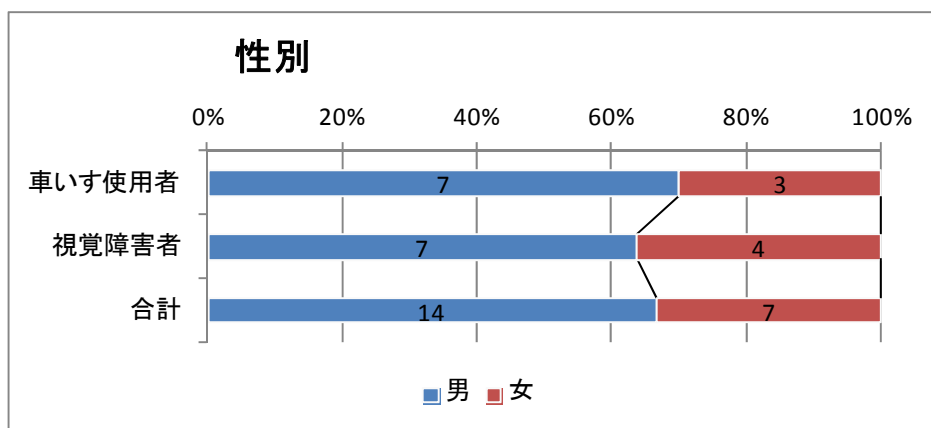
当日は、車いす使用者 10 名、視覚障害者 11 名、知的障害者の親 3 名にご協力を頂いた。
アンケートについては車いす使用者 10 名及び視覚障害者 11 名について以降に整理を行う。

1.2.1 性別及び年代

参加者の性別は、車いす使用者及び視覚障害者ともに男性の方が多い。

年代は、車いす使用者は 10 代から 80 代まで分布している。視覚障害者は、70 代が 7 名を多い。

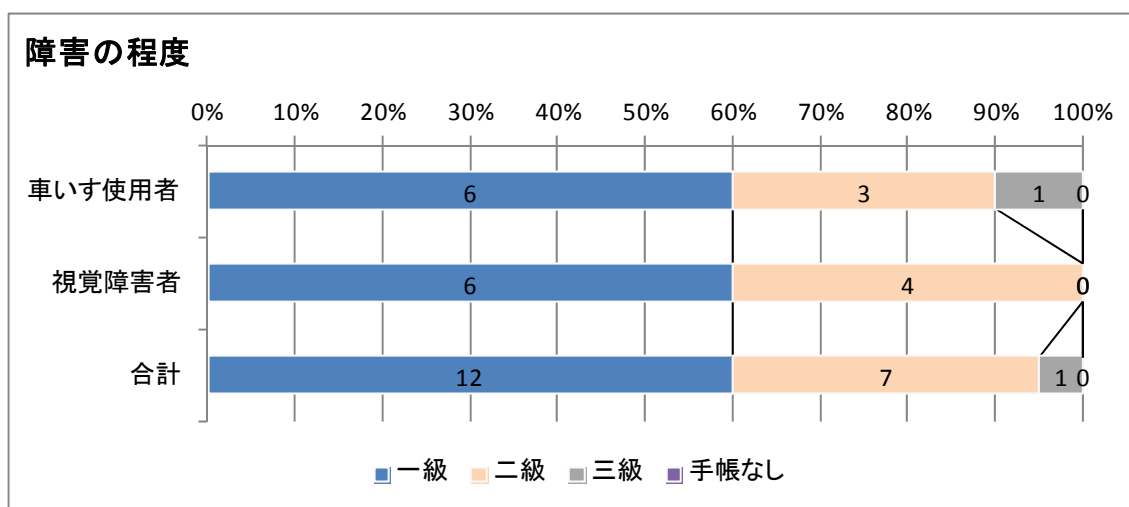
1. 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングについて



1.2.2 障害の程度及び障害の種別等

(1) 障害の程度

障害の程度は車いす使用者、視覚障害者ともに1級が6割を占める。



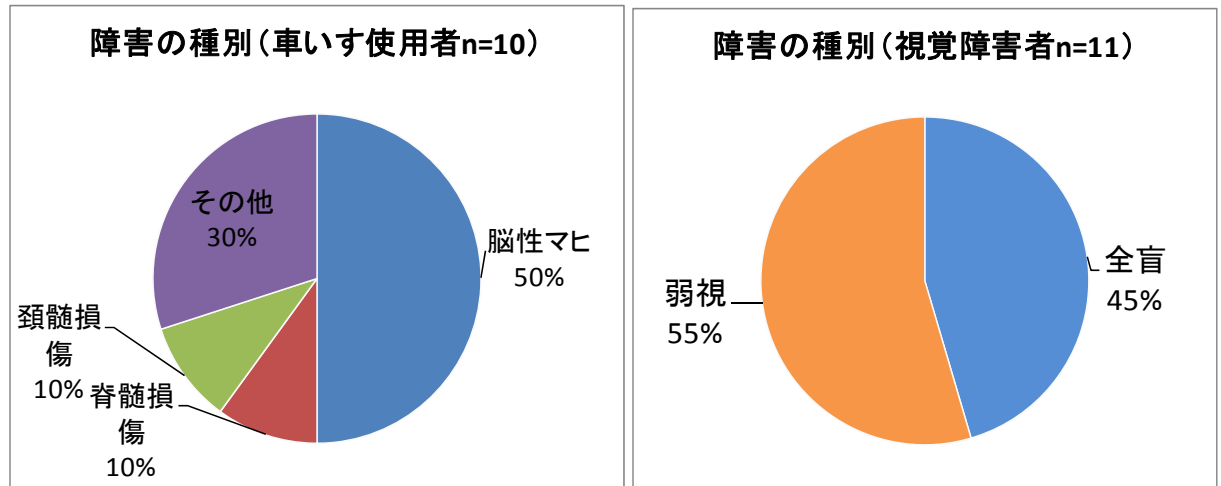
1. 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングについて

(2) 障害の種別

障害の種別は、車いす使用者では脳性マヒが半数を占め、その他記髄損傷、頸椎損傷、二分脊椎症、難病スモン、右足代替 1/2 欠損（大腿義足）となっている。

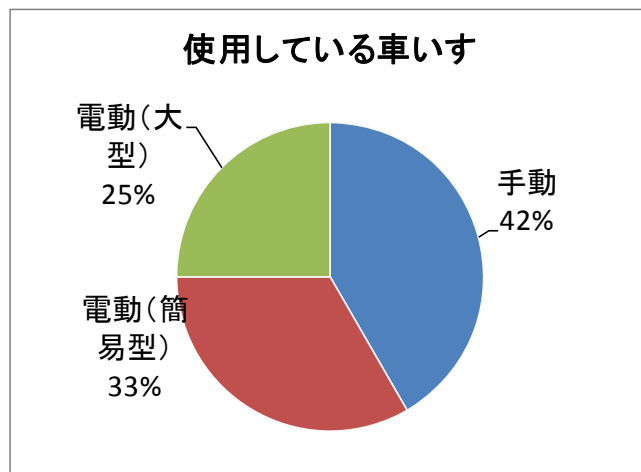
視覚障害者では、全盲と弱視と半数程度となっている。

なお、重複障害に関しては、車いす使用者の方の中に視覚障害 2 級の方がいた。



(3) 車いすの状況

車いす使用者が使用している車いすは、手動が 42%、電動（簡易型）が 33%、電動（大型）が 25%。なお、手動、電動（簡易型）、電動（大型）ともに使用するという回答もあった（その場合はそれぞれ 1 としてカウント）。

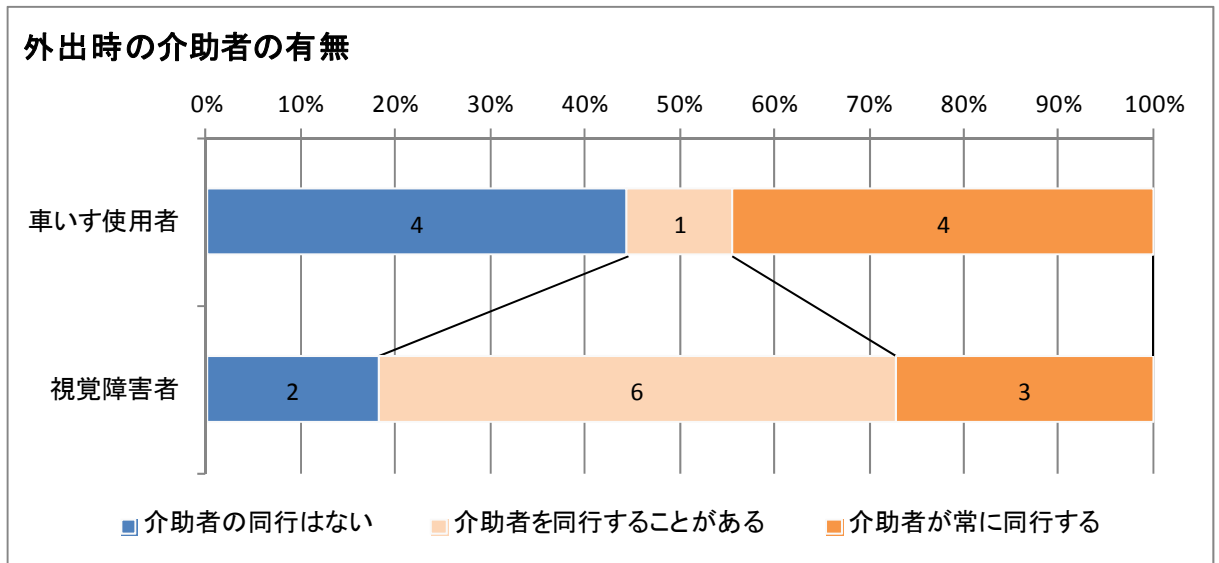


(4) 外出時に携帯するもの、介助者の有無等

視覚障害者は外出時には全ての方が白杖を使用すると回答した。

外出時の介助者の有無については、車いす使用者の方が介助者の同行が少なく、視覚障害者は館内や慣れた場所では介助者がなくてもよいが、慣れない場所に行く場合などは介助者が必要という回答が多い。

1. 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングについて



1.3 外出の状況

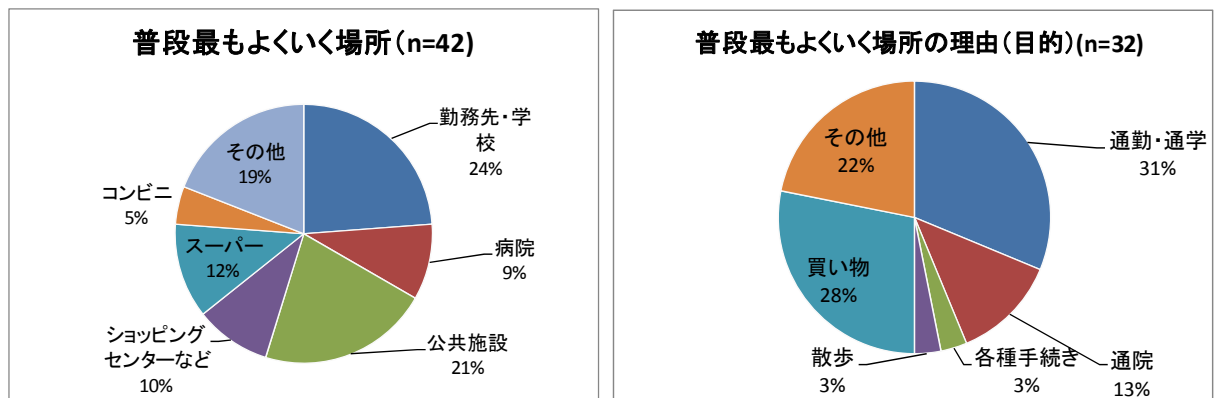
1.3.1 普段最もよくいく場所とその理由、外出頻度、交通手段外出の状況

(1) 普段最もよくいく場所

普段最もよくいく場所は、勤務先・学校が最も多く、次いで公共施設、スーパー、ショッピングセンターである。公共施設は障害者福祉センターとの回答が多い。

(2) 普段最もよくいく場所の理由（目的）

普段最もよくいく場所へ行く理由（目的）は、通勤・通学が最も多く、次いで買い物、通院である。



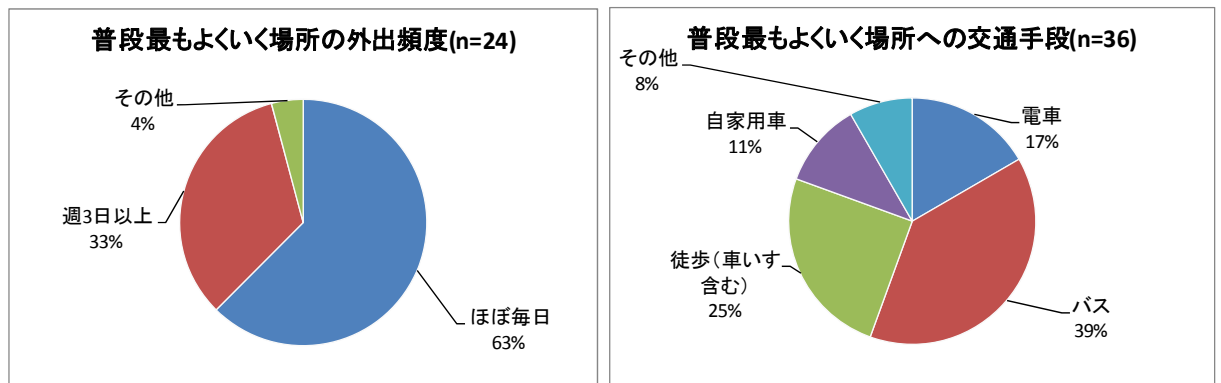
(3) 普段最もよくいく場所への外出頻度

普段最もよくいく場所への外出頻度は、ほぼ毎日で 6 割以上を占める。

(4) 普段最もよくいく場所への交通手段

普段最もよくいく場所への交通手段は、バスが最も多く、次いで徒歩（車いす含む）、電車、自家用車となっている。

1. 高槻市における障害当事者等へのアンケート及びヒアリングについて



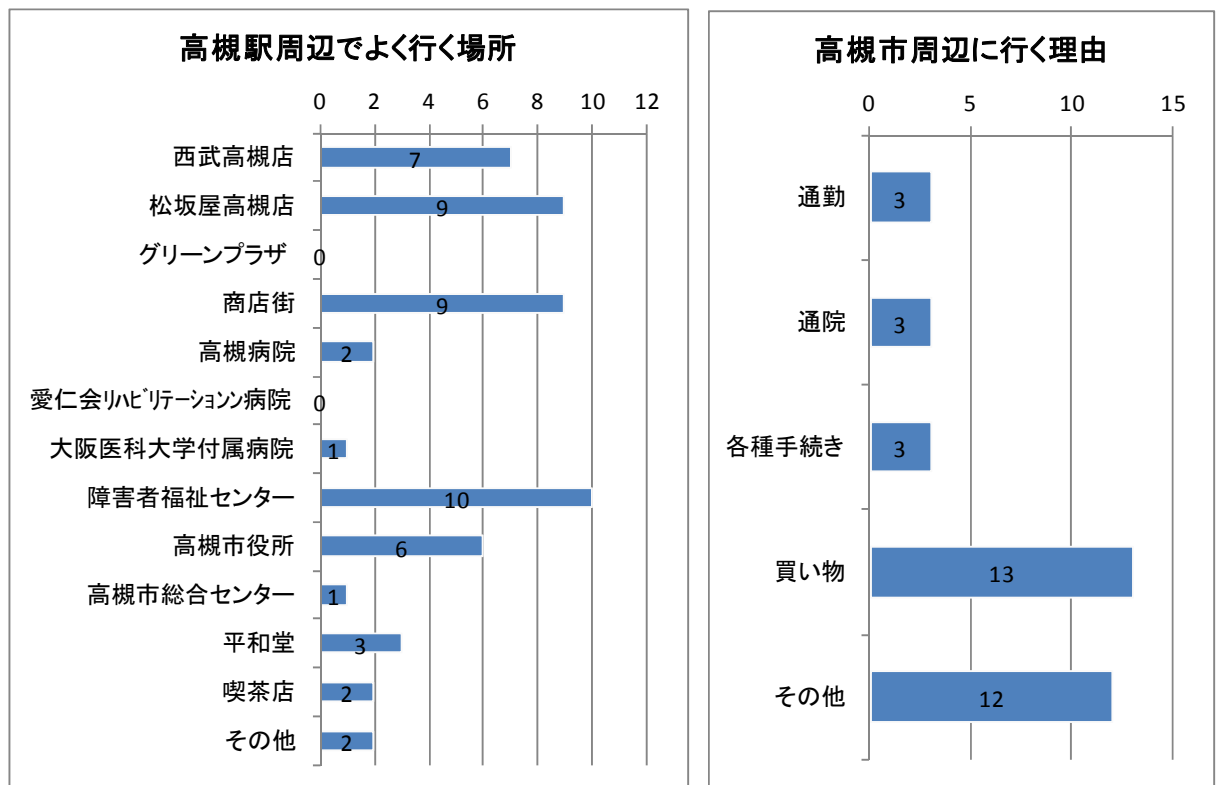
1.3.2 高槻駅周辺でよく行く場所とその理由、外出頻度、交通手段

(1) 高槻駅周辺でよくいく場所

高槻駅周辺でよく行く場所は、障害者福祉センターが最も多く、次いで松坂屋、西武高槻店、市役所が多い。

(2) 高槻駅周辺でよくいく場所の理由

高槻駅周辺でよく行く場所の理由（目的）は買い物が最も多い。その他の回答には、会議、障害者等事業書類届等、サークル活動、高市協の用事の他、センターの行き帰りに気分転換に、食事、お茶、映画、公演、おしゃべりしに、カラオケ、ネットカフェなど多様である。

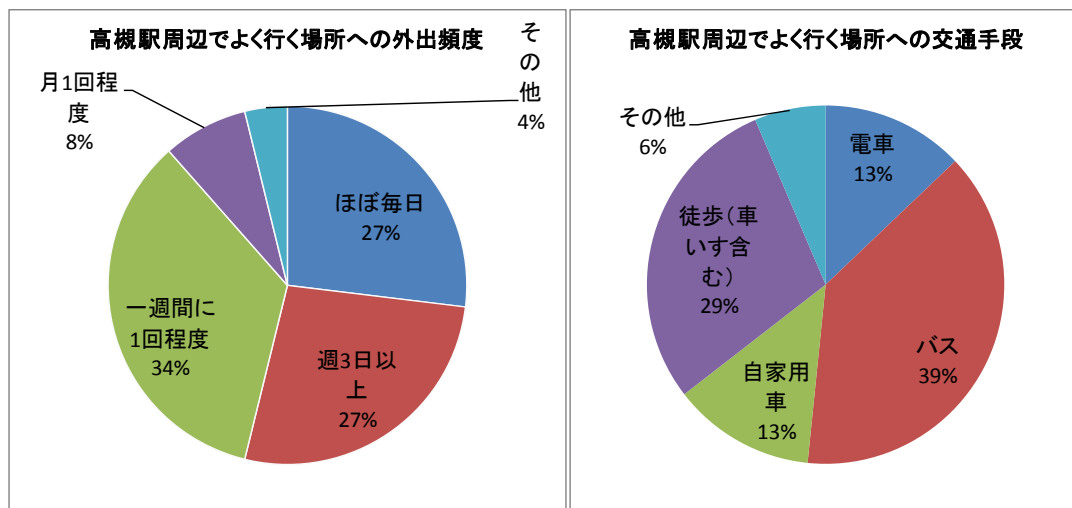


(3) 高槻駅周辺でよくいく場所への外出頻度

高槻駅周辺でよく行く場所への外出頻度は、「週3日以上」で半数以上を占める。最も多いのは、「週1回程度」で34%である。

(4) 高槻駅周辺でよくいく場所への交通手段

高槻駅周辺でよく行く場所への交通手段は、「バス」が最も多く39%である。次いで「徒歩(車いす含む)」、「電車」、「自家用車」となっている。

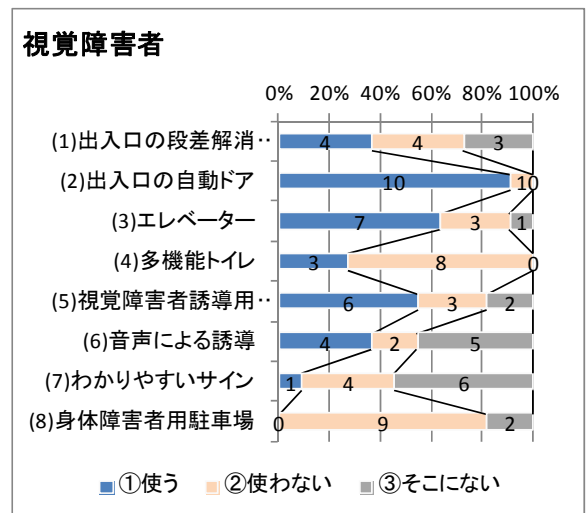
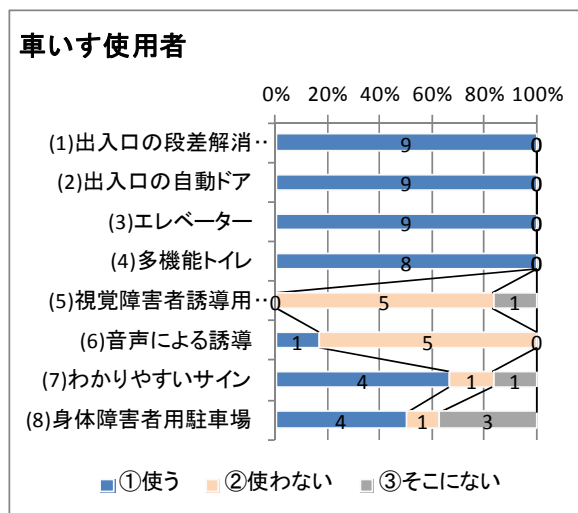
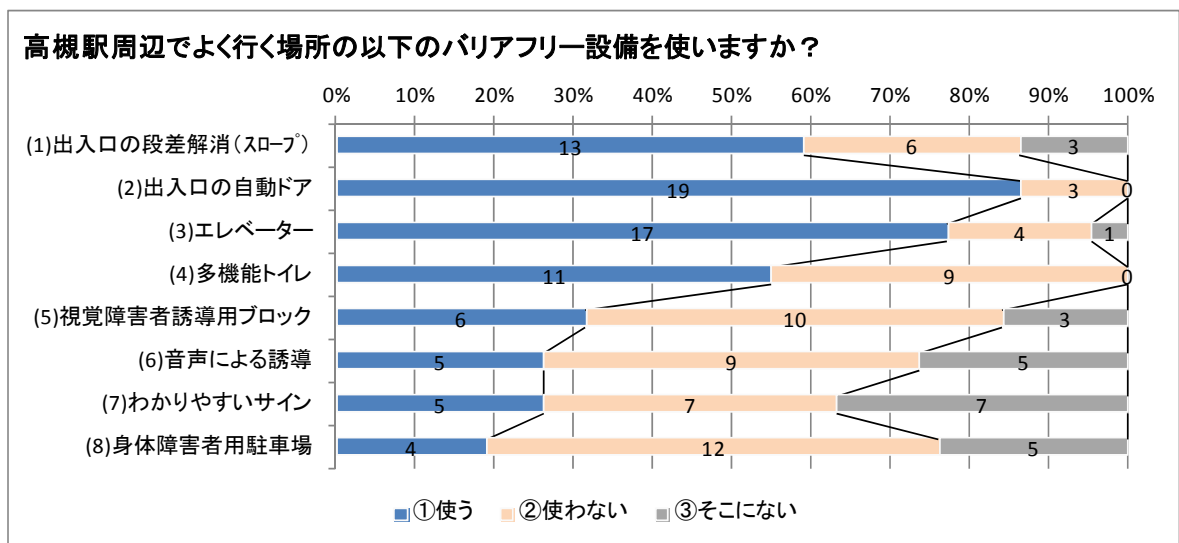


1.4 高槻駅周辺でよく行く場所におけるバリアフリー設備の利用状況

(1) バリアフリー設備を使うか？

高槻駅周辺でよく行く場所におけるバリアフリー設備の利用状況について、最もよく使われているのは「出入口の自動ドア」、次に「エレベーター」、「出入口の段差解消（スロープ）」、「多機能トイレ」である。

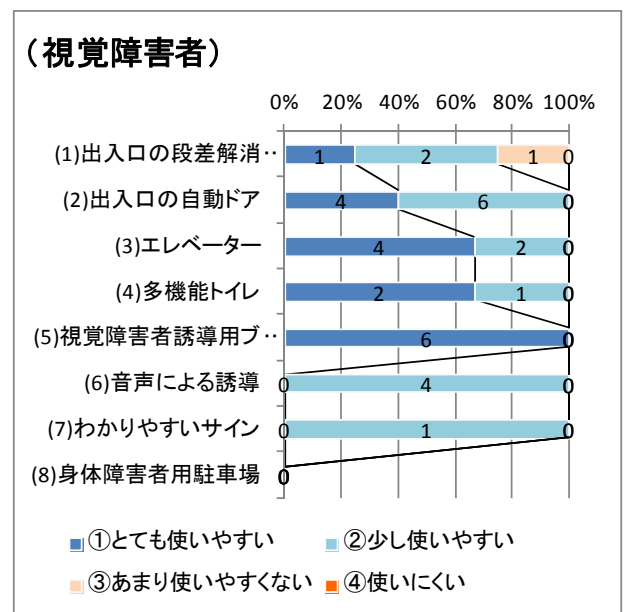
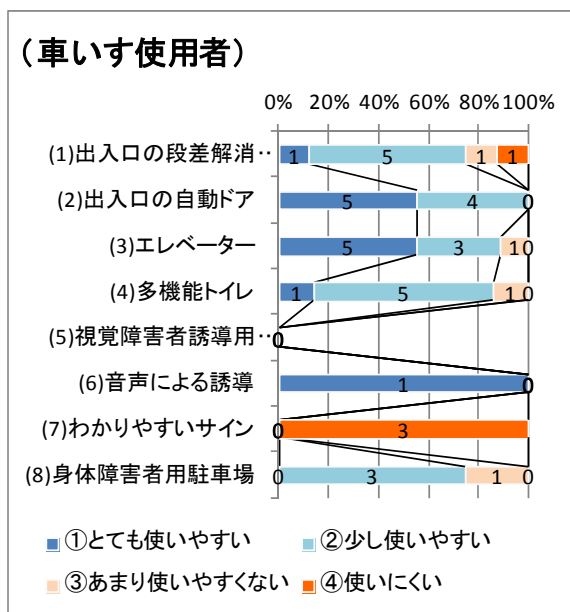
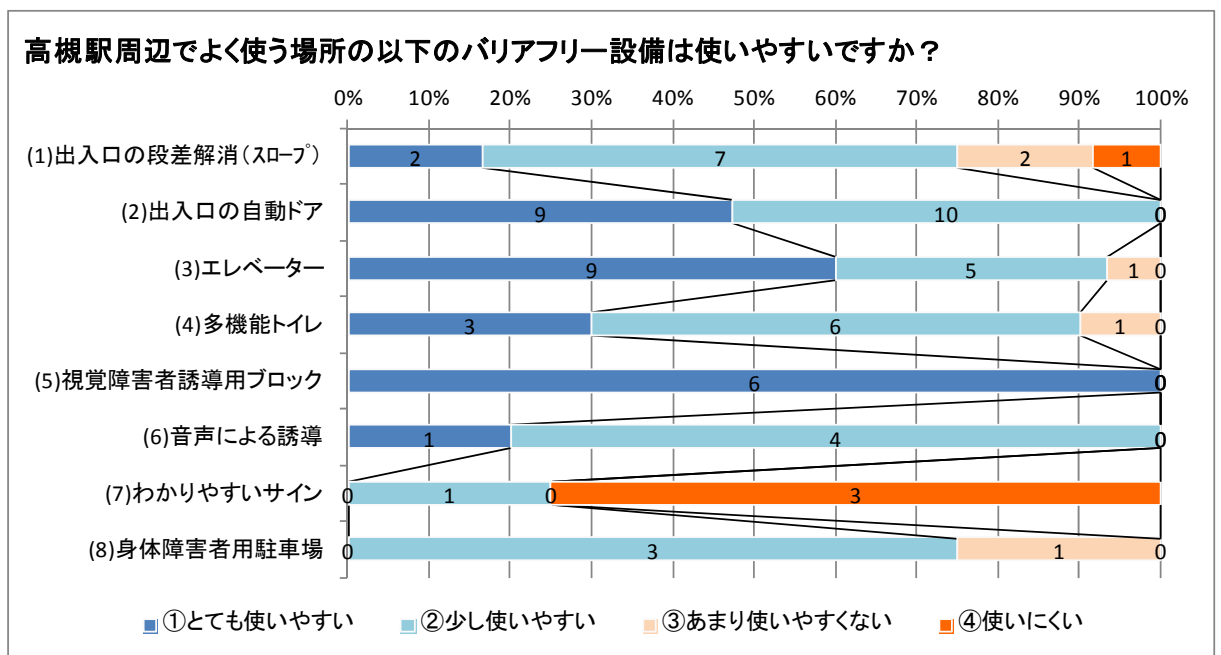
障害別にみると、「出入口の段差解消」や「エレベーター」などの段差解消設備は車いす使用者がよく使うが、視覚障害者も使っていることがわかる。「視覚障害者誘導ブロック」や「音声による誘導」は視覚障害者がよく使っている。



(2) バリアフリー設備は使いやすいか？

高槻駅周辺でよく行く場所で最もよく使われている「出入り口の自動ドア」については、使いやすいという評価が多い。一方で、「エレベーター」、「出入り口の段差解消（スロープ）」、「多機能トイレ」では「あまり使いやすくない」があり、その理由としては、「エレベーター入口の幅員が狭い」「百貨店等で人がいると方向転換しづらい」「奥行きがあまりない」となっている。である。

また使いにくい理由としてのコメントが多かったのは、「身体障害者用駐車場」であり、「専用の駐車場がない」「身体障害者用とは思われない車の駐車がかなりある」といった指摘があった。

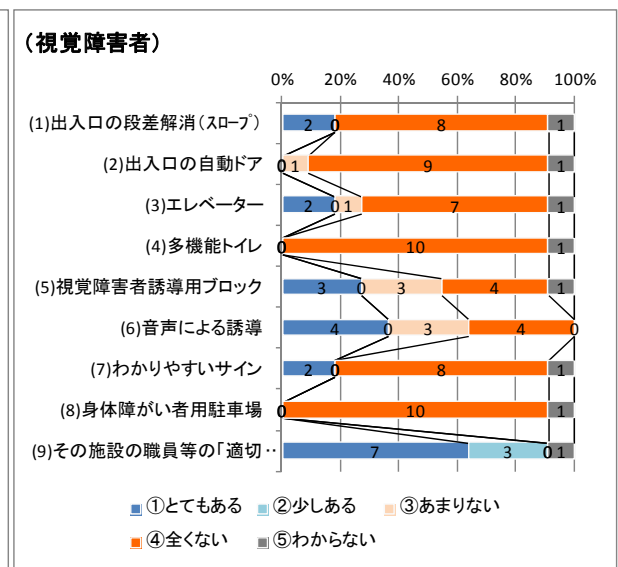
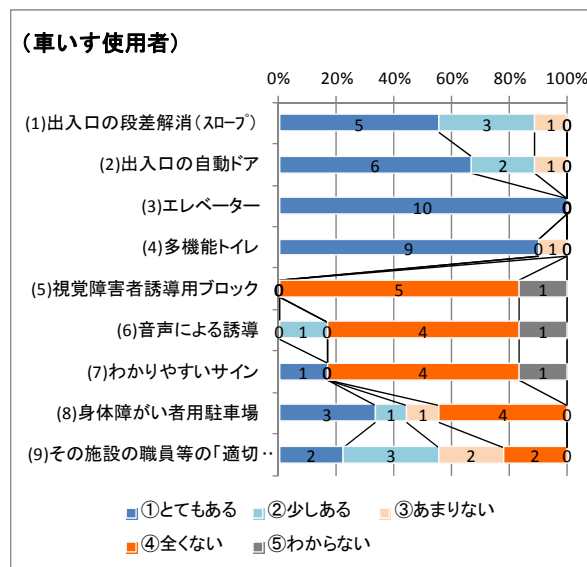
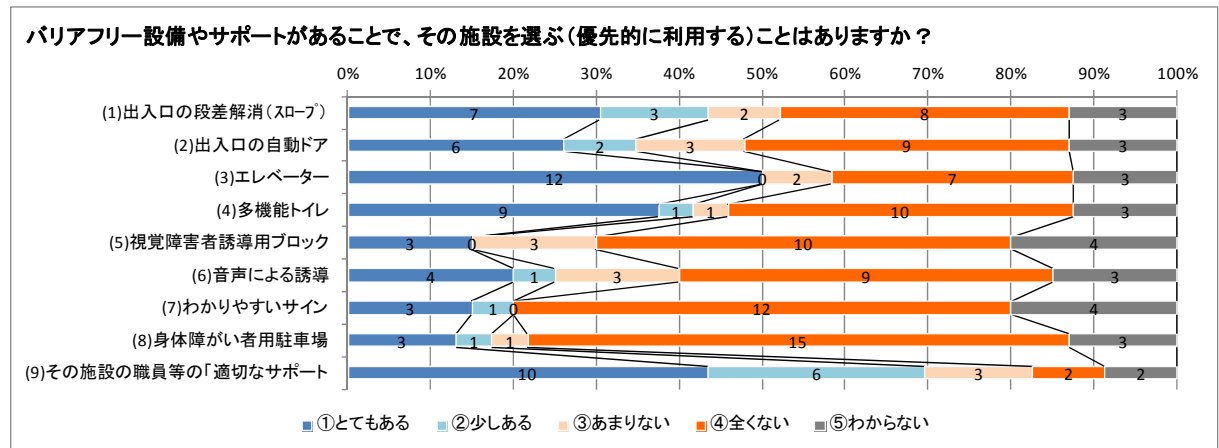


1.5 バリアフリー設備やサポート等に対する評価

1.5.1 バリアフリー設備やサポートがあることで、その施設を選ぶ（優先的に利用する）ことはありますか？

バリアフリー設備やサポートがあることで施設を選ぶ（優先的に利用する）として「とてもある」が最も多かったものは「職員等の適切なサポート」であり、視覚障害者の方が重視している。コメントとして「品物の値段が高くても、店員の対応が良いお店に行く」「対応が良いととても安心するし、また行こうと思う」があげられた。

次いで多い「エレベーター」や「多機能トイレ」は車いす使用者が重視している。



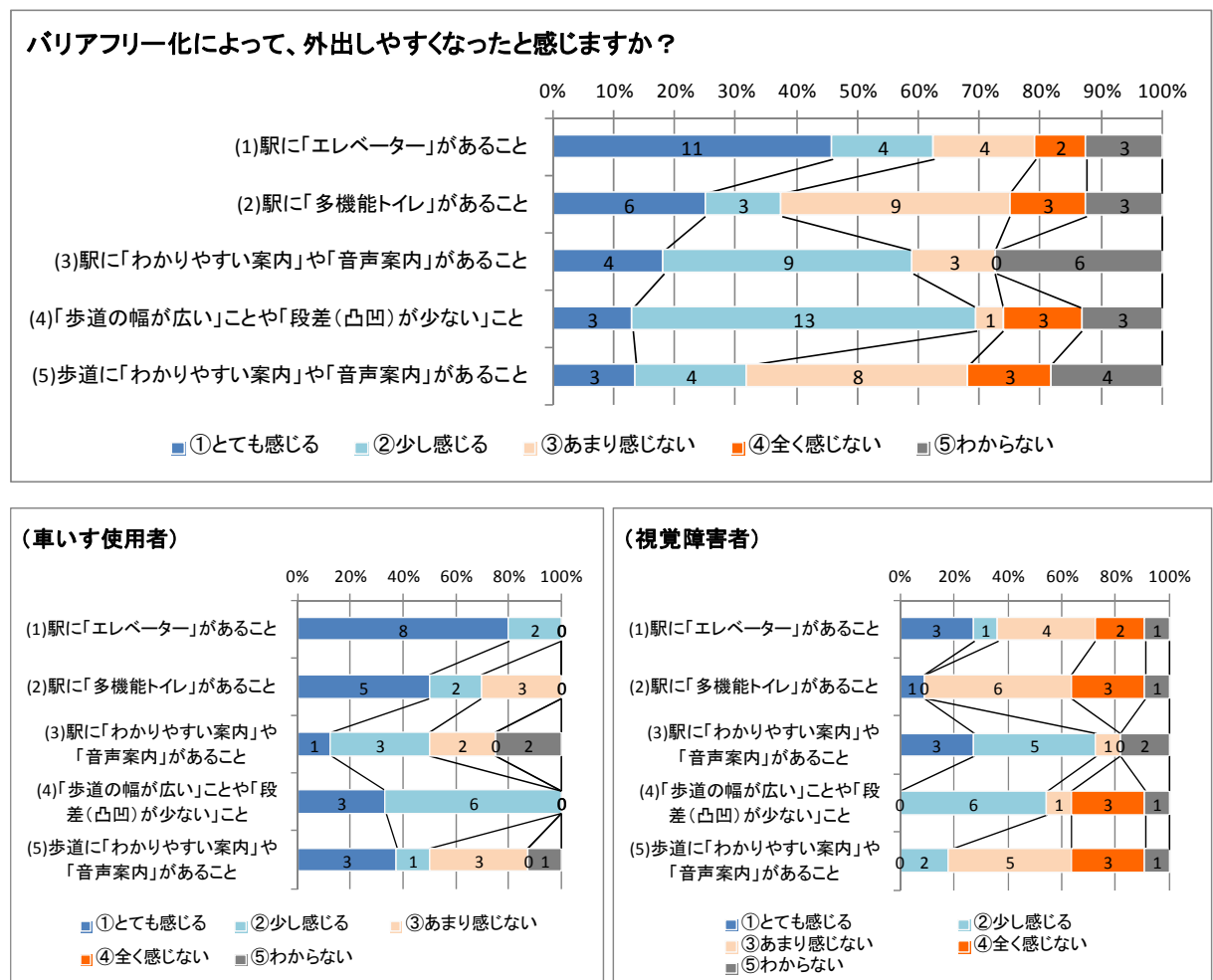
1.5.2 バリアフリー化によって、外出しやすくなったと感じますか？

外出のしやすさを感じるバリアフリー化で「とても感じる」の回答が最も多いのは「駅にエレベーターがあること」であり、車いす使用者の方が重視しているが、視覚障害者の中にも重視している方がいる。

次に多いのは「駅に多機能トイレがあること」であり、車いす使用者が重視しているう。

「駅や歩道にわかりやすい案内や音声案内があること」は視覚障害者が重視している。

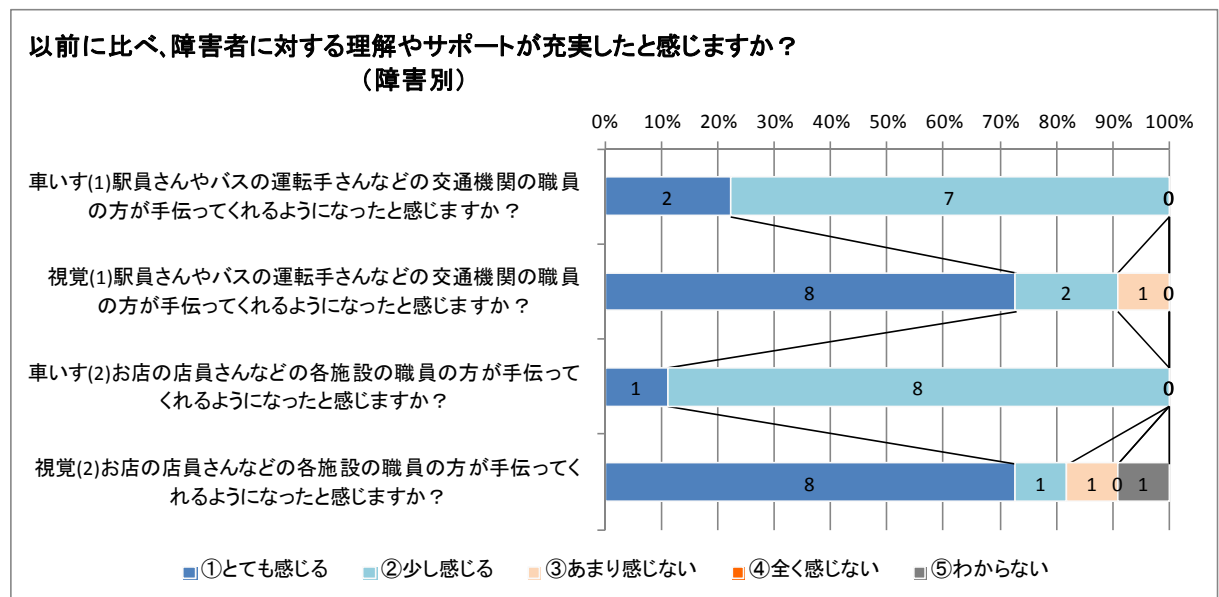
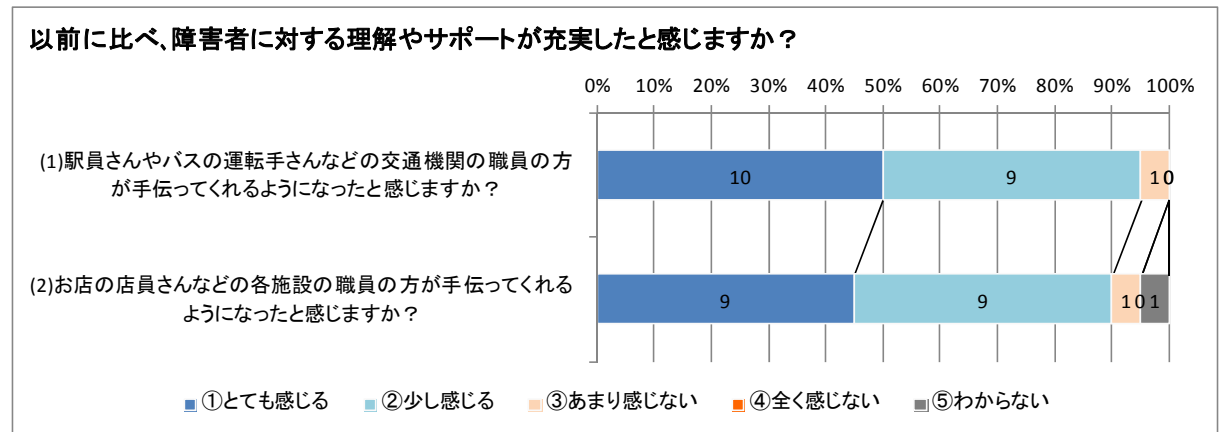
「歩道の幅が広いことや段差が少ないこと」は、車いす使用者も視覚障害者も「少し感じる」との回答が多い。



1.5.3 以前に比べ、障害者に対する理解やサポートが充実したと感じますか？

以前に比べ、障害者に対する理解やサポートが充実したと感じるのは「とても感じる」「少し感じる」で約9割となっている。

障害別にみると、「とても感じる」の回答は視覚障害者に多く、「少し感じる」の回答は車いす使用者に多い。コメントとしても、「まちの中で声をかけてもらう機会が増えた」などがあげられている。



2. 障害者ヒアリング

2.1 障害者ヒアリング実施方法

2.1.1 趣旨の説明

高槻市では、バリアフリー法に基づく基本構想を策定し、障がい者の方々等のご意見を聞きながら、歩道の段差解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置、駅や施設へのエレベーターや多機能トイレの設置、音声による案内の整備などのバリアフリー整備を進めている。

国土交通省総合政策局では、今年度「一体的・連続的なバリアフリー化のあり方とその波及効果に関する調査研究」を実施しており、その中で高槻市の先進的な取組を参考にすることとなった。

調査研究においては、一体的・連続的なバリアフリー化が実現されることによって、高齢者・障がい者等の社会参加が促進され、各施設の利用者が増加する、市町村の中心市街地の活性化が図られるといった、バリアフリーの波及効果について把握し、整備が進みにくい民間建築物のバリアフリー化や他都市におけるバリアフリー整備の参考とする資料を作成していきたいと考えている。

是非、バリアフリー化が皆さまの行動にどのような影響を与えているのか等、忌憚のないご意見を頂きたい。

2.1.2 ヒアリング設問

以下の3つについて質問を行った。

（質問1） バリアフリー整備が進んだことで、以前できなかったことができるようになった等の体験について教えてください。

例) ○○駅にエレベーターが設置されたことで、遠回りをしなくてよくなった

○○店の出入口の段差がスロープになったことで、その○○店に行けるようになった。

○○店の出入り口の扉が自動扉になったので、介助がなくても、通行できるようになった。

○○駅又は○○店の多機能トイレが整備されたので、滞在時間が以前より長くなった。

○○通りに視覚障害者誘導用ブロックが設置されたことで、通行しやすくなった。

○○店に音声案内がつけられたことで、利用しやすくなった。

（質問2） 以前に比べて理解やサポートなどが充実したと感じた体験について教えてください。

例) ○○線の駅員や○○バスの運転手など、交通機関の職員のサポートや接遇がよかった。

○○店の店員さんなど各施設の職員の方が手伝ってくれるようになった。

（質問3） バリアフリー整備は進みつつあるものの、まだ残されている問題や課題について教えてください。

例) 利用したいが、問題があって利用できない施設や場所がある。

エレベーターや多機能トイレを使う方が増えて、使いたい時に使えないことがある。

自転車や人が多い場所では、通行しにくく、危険もある。

2.2 ヒアリング実施結果

2.2.1 ヒアリング実施結果（車いす使用者）

(1) 指摘の概要（車いす使用者）

- 高槻駅周辺のエレベーター、跨線橋（弁天）の整備等により、車いすでの移動はかなり容易になったと思われる。しかし、地震時等の停電時への不安は持たれている。
- トイレについては、車いすで利用できる多目的トイレは増えているものの、障害の状況によっては、手すりの構造や便座の配置・高さ等により使いにくいものもあることがわかった。
- 自転車の走行マナーについては、一部、悪くなったという意見もあったが、概ね改善してきているようである。但し、駐輪に関しては、特に車いすでの走行に支障をきたすため、問題と考えられている。
- バス・鉄道の職員の対応も改善されてきているが、JR は、規則厳守といった姿勢で、阪急のように融通が利かないという指摘が多かった。
- 歩道については、特に車道側への傾斜を改善してほしいという声が多く、また側溝のふたの隙間に車輪が挟まることの危険性を指摘する声もあった。
- 全体として、高槻駅周辺等においては、バリアフリー化が進み、徐々にではあるが、市民等の理解も進んできており、車いす利用者として街中に出て行くことも便利になってきているが、さらなる整備と意識の変化が求められていると言えよう。

(2) バリアフリー化が進むことによってできるようになったこと。よくなったこと。

<高槻駅周辺>

- 高槻駅はエレベーターが設置され、車いすでの移動が便利になった。それ以前は、グリーンプラザ 3 号館の中のエレベーターを利用していた。
- 高槻駅周辺は、特に便利になった。
- 新しい跨線橋（弁天）ができ、JR 南北の横断で 15 分ぐらい時間短縮を図ることができるようになった。以前は、高槻駅の部分を通るしかなかった。以前の踏切の際は、距離が長いこともあり、不安で通行できなかった。
- JR 高槻駅周辺で、最近、段差が少なくなって、車いすで走りやすくなってきた。
- 歩道橋に上がるエレベーターができたことは使いやすくなった。

<障害者用トイレ>

- アルプラザのトイレは使いやすい。障害者用のトイレの数は増えている。
- 西武の 6 階のトイレが車いすで使いやすい。ただ、健常者の方が長時間使われてしまい、使えないこともある。西武のトイレはきれいで使いやすい。
- 車いすで利用しやすいトイレは、増えてきているが一般の人が使っていて使えないこともある。

＜一般店舗等＞

- 阪急高槻のりそな銀行を利用しているが、出入り口が新しく付けられ、使いやすくなった。

(3) まわりの理解・サポート

＜自転車のマナー＞

- 車いすに対しては、自転車のマナーは良くなったように感じる。
- センター街でも自転車はお客さんなので、排除はできない。係員等を置いて対処しているため、少しずつマナーも良くなってきている。自転車を押して通行する人も増えてきた。
- 高槻駅の地下通路も車いすなどが通行するとよけてくれるようになった。
- 阪急高槻市駅周辺で違法駐輪が多い。特にガストの前が、歩道が狭いので、通行が困難となっている。

＜バス・鉄道事業者の対応＞

- バスの運転手の対応も良くなってきた。
- JR の職員の対応はあまり良くない。JR は改札を通る時に毎回、障害者手帳を見せないと対応してくれない。阪急は、柔軟に対応してくれる。
- バスの運転手の障害者への対応も、よくなった。親切にアナウンスしてくれるようになった。バスの中でも、よく席を譲ってくれるようになった。
- 駅の職員が使いやすいトイレの場所を教えてくれる。
- JR の駅職員の対応は、前に比べればよくなってきたが、たまに愛想の悪い人もいる。全体的に考えれば良くなってきた。
- 阪急は、電車に乗ってから降車駅に連絡してくれるので待ちされることは無い。

(4) 残された課題

＜高槻駅周辺＞

- エレベーターが設置されたかわりに、スロープが無くなった。電気が止まった時（地震時等）移動できないので、スロープもあると良かった。
- 高槻駅の西武側には、車いす用の乗降スペースがあるが、反対側にはない。（これから整備する予定）

＜障害者用トイレ＞

- 障害者用トイレで、手すりが上がらない（固定）タイプであったり、便座のまわりに空間が無いことにより、便座への移動が困難である。便座の高さも使いにくいものもある。スペースは確保されているが使いづらい。
- 市役所 1 階のトイレが使いにくい。新館 1 階に、車いす用トイレがあるが、狭い上に数が少ない。

<歩道>

- 歩道上の立木が邪魔で車いすで走行しにくい。
- 歩道の幅が狭く傾いているので、1人だと危ない。傾斜があるのが使いにくい。
- 側溝の蓋に車いすの車輪が挟まることもあり、危険。
- 福祉センターに来ることが多いが、側溝に蓋がない個所があり、移動上不安を感じる。
- マックスバリュ前歩道については、歩道の凸凹がある。その場合振動があり、身体に良くない。傾斜がある個所は、車道側に引っ張られるため通行がしにくい。また歩道が狭いため、車道部を通行しようかとも思う。

<一般店舗>

- コンビニは、出入り口がほとんど自動ドアになっていないため、車いす利用者や視覚障害者はうまく入れない。お店全般に自動ドアが増えてくれるといい。

<自転車のマナー>

- （義足のため外見上は健常者に見える）自転車のマナーが良くない。
- 車いすを利用して、後ろから来る自転車になかなか気付かない。急に現れてびっくりすることがある。
- 自転車もマナーを守ってほしい。駐輪マナーが良くない。
- 高槻駅前の違法駐輪は減ったが、周辺のパチンコ店のまわり等に移ったように感じる。

<バス・鉄道事業者の対応>

- バスに乗れるようになったことが便利であるが、事前に連絡しておく必要があるのでは、不愉快な思いをすることがある。
- JRは、事前に連絡し、早めに行く必要があり、ぎりぎりに駅に着くと、駅で待たされてしまう。

<その他>

- 阪急高槻市駅周辺では、車いすの乗降スペースがない。

(5) その他

- エレベーター等が整備され、街中は便利になっているが、障害の状況から、1人ではそこまで行くことができない。ヘルパーに依頼することも可能であるが、1カ月前には頼んでおく必要がある。

2.2.2 ヒアリング実施結果（視覚障害者）

(1) 指摘の概要（視覚障害者）

- 視覚障害者は、一人で外出することのある方であり、慣れている場所であれば単独で外出し、そうでない場合はガイドヘルパーを利用している方が多い。
- 視覚障害者が白杖を持って外出することに対して、以前は否定的だったのが、最近では

理解が進んだとの指摘が多い。特に小学校での学習効果をあげる視覚障害者が多く、声かけだけでなく誘導の仕方もよいとの評価であった。まちの中でも市民からの声かけが多くなったとの指摘が多数あげられた。

- ハード整備では、音声案内が有効であるとの指摘が多かった。音響信号やエスコートゾーンは交通安全上有効である。また、エスカレータの乗降口を知らせる案内は誤侵入などの危険防止に有効である。またトイレの音声案内やエレベーターの階数案内、バスの行き先等の案内が有効であるとの評価であった。なお、一般トイレ内の段差に気づかず転倒したとの指摘もあり、トイレ内の段差解消を含む段差解消は視覚障害者にとっても有効である。
- 課題としては、自転車に対する指摘が多く、放置自転車があることで歩きにくいという指摘があげられた。また、夜の無灯火やすれすれを通過するなど、視覚障害者は近くに来るまで気づかないことから、危険を感じる場面が多いと推察される。その他、タッチパネル式の券売機や ATM が使えないとの指摘があげられた。

(2) バリアフリー化が進むことによってできるようになったこと。よくなったこと。

- 17.18 歳の頃から白杖を持って一人歩きをしているが、その頃には音響信号も誘導ブロックもほとんどなかった。ないよりもあった方が歩きやすいが、その頃から歩いているので、それほど不便を感じていない。その頃は手引きされて歩いてはいけないと教えられる時代だった。4 歳からの 50 年間のたたき上げの障害者にとってみれば、こんないい時代は考えられなかった。なぜなら、理解度や認知度が格段に違う。以前は視覚障害者が外出していると、「なんで一人で歩いているのか」「歩かないで下さい」といったことを言われたことがある。今は誘導の仕方をみなさんわかっているし、お店に行っても空いている席に案内してくれる。本当に楽になった。健常者の理解が一番である。30 歳の後半くらいから時代が変わったと感じた。
- 最近の話だが、JR の高槻駅ではエスカレーターの上り下りを音声で案内してくれるのが大変助かる。それがないと近くまで行かないと確認できないので、危険だし、音声案内によって距離感もわかるようになる。以前は行ってみて、手すりを触ってみたら逆だったという体験はある。エスカレータの乗り口で止まったりするととても危険である。階段の昇り口でも手すりの点字を確認していたら「なんでそんなところにおるんや」と言われるなど邪魔になったりするので、気を使う。いろいろな所に音声案内があると地図的な位置関係がわかって安心できる。
- この 5-6 年で駅周辺は音響信号はかなり整備された。以前は音響信号があっても点字ブロックがついてないおところもずいぶんあったが、改善が進んでいる。移動にはよく市バスを利用するので、各バス停の位置を示す点字ブロックについて、駅周辺（最初の 1-2 カ所のバス停まで）は敷設されているが、駅から離れると敷設されていないのでつけてもらえると助かる。自宅近くのバス停（とんだだんち）は終点であるので、わかりやすいのだが、誘導ブロック（かなり古いのではないか）は敷設されているものの、道路自体の路面に凹凸があって、ブロックが認識しにくい。
- 最近、バスの案内で行き先をアナウンスしてくれる。以前はアナウンスがなく行き先が

わからずに苦労したことがあった。信号の交差点、最近では太陽のあたり具合で信号の色が識別できない。暗くなった方が識別できる。他にも人がいたら、同じように行動することができても、一人の時に困る。音響信号があると安心できる。エレベーターの中が暗い時があると、押しボタン（階数）が全く見えないことがある。ボタンが明るく光っているとわかりやすい。

- 我々は音声を頼りにしている。音響信号や音声案内のあるトイレがあるとよく、最近では行き届いてきた。特に新しいトイレは音声案内があること、段差が解消されてバリアフリーになっていることがよい。段差があつて転倒したりしたことがあった。わかってないと一人でいけないので、音声の案内があることで一人で入りやすくなった。最近では困っていると親切に教えてくれる人が多くなった。
- 以前に比べて大きく変わったのは高槻市の担当者が我々の指摘を聞く耳を持って、動きが早くなった。電話をしたらすぐに来てくれて、話を聞いてくれて、ちゃんと答えを出してくれる。このような一步一步の積み重ねがバリアフリーが高槻市のバリアフリーの推進に大きく影響していると思う。
- 音響信号があれば「赤」か「青」かが明示される。このことは視覚障害者にとって安全面が非常に向上したと評価できる。やってもらって当たり前ではなく、感謝の気持ちも忘れてはいけないと思う。
- 音響信号に加えてエスコートゾーンが設置されてきている。以前は国道を横断する際など、うまく対岸に渡れず困ったことがあったが、エスコートゾーンがあることで、確実に渡れるようになった。例えば、雨で傘をさしている時などは音の感覚が違うので、わかりにくかった。私はトイレは一般のトイレを利用するが、トイレで「こちらが女性トイレです」と音声で案内してくれることで、間違えることがなくなった。駅とか公共の場所のトイレなどにあるとよい。
- 周囲が明るい時に信号が色の見分けがつかないことがあつて困る。周囲に人がいればよいのだが、いないと困る。手すりもあるとよい。見えにくいので階段を下りる時に手すりがあると安心して降りることができてよい。
- トイレの案内、エレベーターの音声案内があると非常に助かる。点字ブロックもあちこちにあるので、歩く際に助かる。エレベーターの音声案内がないと何階かがわからなく困った。
- 小は男の方も自動的に流れていいのだが、大の場合は水を流すボタンがどこにあるのかわからず困る。点字ブロック、音声案内があるので移動しやすくなった。自転車の点字ブロックに置かれていることが少なくなった。駅前などは駐輪場が整備されたことでかなりよくなった。なかった時には自転車にあたったり、自転車を倒してしまったりした。以前は倒したら直していけというような言葉もあった。
- 音響信号とトイレの音声案内は非常に助かる。トイレの前の男女表示だけではわからない。エレベーターは行き先階が見えない。光っていたりすれば見えやすい。市役所は特にわかりにくい。

(3) まわりの理解・サポート

- 道を歩いていても親切にしてもらえるのは以前とは格段に違っている。それについては何の不満もなく、満足している。1点だけ困ることを挙げるとすれば、銀行のATMがタッチパネル式であること。郵便局はプッシュボタンなので、操作できるが、タッチパネル式では難しい。駅の券売機など、タッチパネル式が増えている。視覚障害者用の特別なものは不要であるので、健常者も視覚障害者も使えるものにして頂きたい。
- 駅員のサポートで、お願いしたら阪急の方が阪神までとか地下鉄まで送ってくれたという話は聞いたことがある。
- 中学の頃、かみしんじょうの支援学校まで一人で通学していたが、声をかけてくれる人や手引きしてくれる人は少しいた。この最近5年くらいは子ども（小学生）が声をかけてくれて、手引きしてくれる。小学校の4年生の総合学習の授業でならった影響か？手引きの方法をどうしましょうか、どこまで行きましょうかなどとちゃんと聞いてくれる。大人の場合、ちゃんと知らなくて、白杖だけ引っ張る人やエスカレーターで行きたいのに、視覚障害者はエスカレーターには乗らないという先入観で階段につれて行かれたりすることもある。
- 高槻市では4年生向きの車いすと視覚障害に関する体験学習を実施している。その学習が効果をあげていて、声をかけたりすることができるようになった。都市づくり推進課とタイアップして実施しているもの。
- 一人歩きしている時に、方向どっちかなとたたずんでいると声かけてくれて、近くまで連れていってくれる。本当に以前とは変わった。一番困るのは自転車。杖をひっかけられたり、折られたりすることがある。あたることや、すれすれですり抜けていくなどがある。
- 夜の無灯火の自転車が怖い。かなりスピードが出ている場合もあって怖い。駅の券売機で小銭をころころ落としてしまった時に、子どもを探してくれてことがある。子どもの障害者への理解はとても進んでいると感じる。
- 高槻市では小学校の体験学習の取組が充実しつつある。私も、実際に子どもたちと一緒に1日学習させてもらっているが大きな影響を与えているのではないかな。先日芥川小学校の校区を歩いていたら、「この間小学校に来られた方ですね。」と挨拶をしにきてくれたのには感動した。自転車に乗っている人のマナーはいろいろである。商店街で乗っていると危ないじゃないか、と言っても危ない乗り方をする人はいる。
- 駅で迷ったり、階段で躊躇していたら声をかけてもらえる機会は増えた。親切でガイドを申し出てくれた人も勇気を出して話しかけてくれていると思って、一人で行けそうであっても、ありがとうと親切を受けて感謝する。お互いに親切に対するお返しをしていくことも大事ではないか。
- コミュニケーションが大事であるというのが持論。地域でどう挨拶をするか、返事がなかったとしてもまず自分から挨拶することが大事である。自分から発信して働きかけていく必要がある。
- 小学校の体験学習の効果について、私も市バスで席を譲ってもらったことがあった。小学校に連絡してみんなの前でほめてもらおうと思って、小学校名とその子の名前を聞いて

たらこのご時世なので名前は教えてもらえなかったという体験もあった。お互いがよい関係を築いていくことが大事である。

- 昔は白杖を持って外出しているだけで、周囲の人から変な目で見られた。実際に親の因果が子に報いたと言われたこともある。最近はかなり理解が進んでそんなこともなくなった。以前はお店できくとあそこにあると言われたり、商品を押しつけられることがあったが、今は頼んだところに連れていってくれるし、選べるように教えてくれる。
- 今日バス来たよと声をかけてくれた人がいました。バスに乗ったら行き先は知らせてくれるが、時刻表をみることができないので、いつ発車するのかもアナウンスしてもらいたい。例えば「何時何分発の団地行きです」といったように、いつ出発するのかも是非アナウンスしてもらいたい。
- 市バスと京阪バスが暗くなってくると見分けがつかない。止まった時に行き先と同時に市バスであることもアナウンスしてもらいたい。
- 高槻駅の新ホームには是非防護柵をつけてもらいたい。視覚障害者にとっては命にかかわる。2年1回くらいは死亡事後が起こっている。柵がつけば安全になるので是非実現してもらいたい。
- 同じ時間に障害者福祉センターまで通勤している。以前に困った時に声をかけてもらったのがきっかけで途中まで行きましょうかと声をかけてもらったりしている。小学校のバリアフリー学習で日常の体験談を話したりアイマスク体験などするが、一人で歩いている時に小学生が話しかけてくれるようになるなど、外出しやすい環境になってきたと感じる。など大人向けも考えないといけない。PTA や先生、サービス業に関わる人達にもバリアフリー体験の取組が広がっていくよい。
- 見えにくいことで、近所の人が変わらなくて道であっても挨拶をしそこなうことがある。悪気はないのだが、相手が気を悪くするのがつらい。他にも耳が遠い人が話しかけられているのに無視していると思われたという話もある。
- 障害者になったのは平成6年だが、その頃に比べれば、まちの人がよく手助けして下さる。
- 障害者側も常に周囲への感謝を忘れてはいけない。「そんなんしてもらわなくてもいい」と言うのではなく「お世話になりました」と言わないといけない。やってもらって当たり前というのでは周囲の人が引くのではないかと感じたことがある。
- 70歳過ぎると市バスのパスがもらえるので、運転手に感謝をこめて「ありがとうございます」と言っても無反応の運転手さんがいる。「気をつけて」と声かけてくれる方もいる。人によってかなり対応が違う。
- お店などでも何度も行くことでお店の人が慣れてよく声かけてくれたりすると、ちょっと高くても親切にしてくれるところに行くということもある。設備の充実も大事だが、人と人とのつながりも大事で、障害者もどんどん外に出ていくことが大事。言っても理解してくれない人もいるのを気にするよりも、一人でも理解できる人増やすことが大事。

(4) 残された課題

- 街角点検（ウォークラリー含む）を年1回実施しており、その成果によって駅周辺はか

なり整備が進んできていると思う。自転車の問題はあるが。あとはホームから転落しないように。

- ハード面の細かいことはいろいろとある。音響信号の鳴り交わしをやめて欲しいとか、阪急の前のお好み屋さんの前の溝蓋をちゃんとして欲しいなどあるが、吉岡さんといろいろと話し合いながら改善を進めていけばよいと思う。無灯火の話もあったが、自転車は本当に困る。健常者の方はいい目を持っているのに、ちゃんと周りをみていない。点字ブロックの上で話したり、階段に座っていたり、危ないことがある。大人の方が難しい、子どものような機会がない。場所によっては放置自転車があったり、轢かれそうになったりする。
- 放置自転車、看板の飛び出しは困る。
- 放置自転車・バイク、阪急の前など。路側帯は自転車を置くところと思っているのではないか。放置自転車が多いと車の近くに行くことになるし、非常に怖い。高槻駅の工事に入るそうだが、特急が通過になって危ないと思うので、視覚障害者が危なくないようにホーム柵を設置して頂きたい。
- 特に自転車のモラルの問題。看板などわかりにくい。放置自転車を将棋倒しにしたこともある。その時には周囲の人が直してくれたが。古いトイレはバリアがあって使いにくいので、新しくして欲しい。(お店などのトイレでは) 段差(敷居)があったりすると躓いたりする。ウォークラリーでアンケートを出す、JRの駅の南側線路沿いにずっと西に向かったあたり、(車のための反射板が光を放つ箇所)でつまづきやすいところがある。
- 音響信号の設置場所と操作の問題を考える必要がある。例えば住宅地では四六時中なっているとうるさいとクレームがくる。例えば、必要な時にボタンを押したら音が出るようにし、その押しボタンの位置がわかるような発信音を出すという方法にしたらどうか。地域との兼ね合いをみて設置方法を検討しなくてはならない。
- 松坂屋の前、以前は自転車が乱雑に放置されていたが、現在は自転車留め(2時間無料)設置されており、非常によかった。
- 行き先が歩ける所ならいいのだが、タクシーで行けるといいなというところに行くとき困る。例えば高槻市内の北から南に移動するのが不便で、バスを乗り継ぐのが大変なことがある。また、バス停が近くになかったり、バスの便が非常に少ないという場合もある。アイデアとしては、市バスの他に市内の循環バスがあるとよい。市役所や障害者センターは駅から少し離れているだけでなく、歩きにくい経路でもある。車いすの方もバスの乗降に時間がかかるので、乗り継ぎが大変である。病院や保健センターなども含めて高槻市内を循環するバスがあるとよいのではないかな。
- エレベーターのボタンを見やすくして頂きたい。
- JRと阪急で駅の整備が違うということがある。経済的な事情などもあると思うが、お互いにいいところを取り入れてよりよい整備が進んでいくとよい。

2.2.3 ヒアリング実施結果(知的障害者)

- 知的障害(娘22歳)は一人で外出できるのでハード面では特に意見はない。知的障害

の場合は障害の程度に関わらずソフト面が大事である。例えば、騒いでしまった時に冷たい目で見られる、困ったり迷子になった時に保護して下さるといった目を持ってくると助かる。聞いた話では、トイレで女親で男の子を介助しなくてはならない時に、多機能トイレの入口が男性側だけだったりすると異性介助の時に困る。トイレの配慮の場合は、異性介助への配慮をお願いしたい。ハード面では、市役所にある音声でガイドしてくれる案内板の操作に興味持つという効果もある。わかりやすい絵文字や図の表示があったり、難しい字にかながふってあるとよい。

- バスにしても電車にしても公共交通が非常に乗りづらい。声だしたり、動きまわったりする。ハードでの対応は難しいが、シルバーシートを高齢者、障害者の共通の優先席と表示して頂けるといいのではないかな。
- 知的障害の子にとって、トイレなどはボタンの位置がいろいろあって非常にわかりにくい。非常ボタンを押してしまったことがある。手かざしはわからないので、ボタンの場所をわかりやすくして欲しい。わからないで流していないことがあるのではないかな。
- 高槻駅の新ホームには是非防護柵をつけてもらいたい。

3. 高槻市における子ども連れへのアンケートについて

3.1 高槻市における子ども連れへのアンケートの実施概要

- 1) 日 時:平成 26 年 1 月 9 日 (木) 10:00～
- 2) 場 所:高槻市子育て総合支援センター
- 3) 対象者: 午前 0 歳児、午後 1～5 歳児の健診の来訪者、合計 81 名

3.2 アンケート対象者の状況

3.2.1 子どもの状況

(1) 性別・年齢

アンケート対象者（母親）が回答した子どもについては、男の子が 49 名、女の子が 58 名の 107 名であり、女の子の方が若干多い。

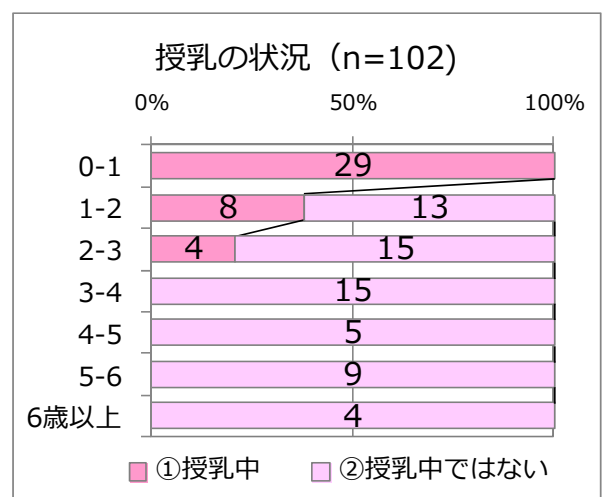
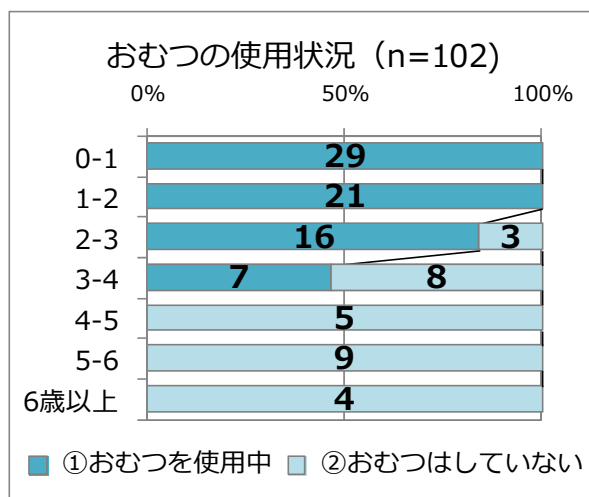
年齢は 1 歳未満が最も多く、2 歳未満がほぼ半数を占める。

グラフ

(2) おむつ・授乳の状況

おむつは 2 歳までは全ての子どもが使用しているが、3 歳にかけて少しずつおむつを使用しなくなり、4 歳以上になるとおむつを全く使用しない。

授乳は 1 歳までは全ての子どもが授乳中であるが、1 歳を越えるとその割合が減り、3 歳を超えると全て授乳中ではなくなる。



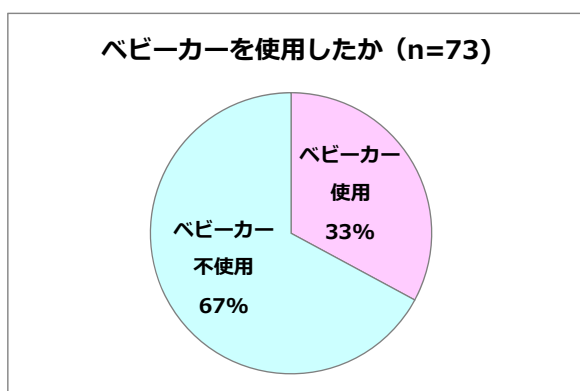
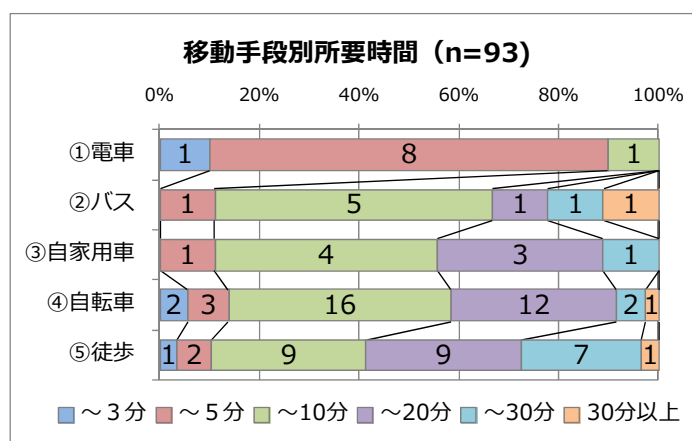
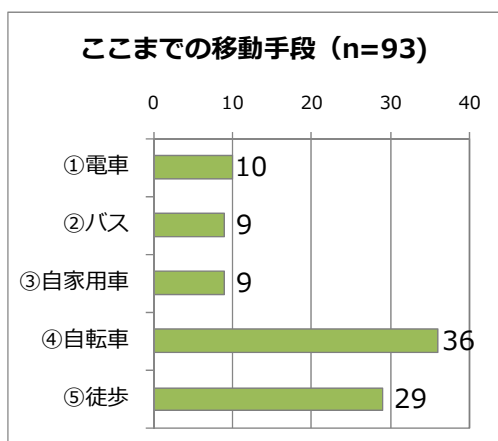
3.2.2 子育て総合支援センターまでの移動手段

子育て支援センターまでの移動手段（該当するもの全て）は、自転車が最も多く、次いで徒歩が多い。

ベビーカーは使用した 33%に比べ、使用しない 67%が多い。

移動時間の平均は 15.4 分である。

3. 高槻市における子ども連れへのアンケートについて



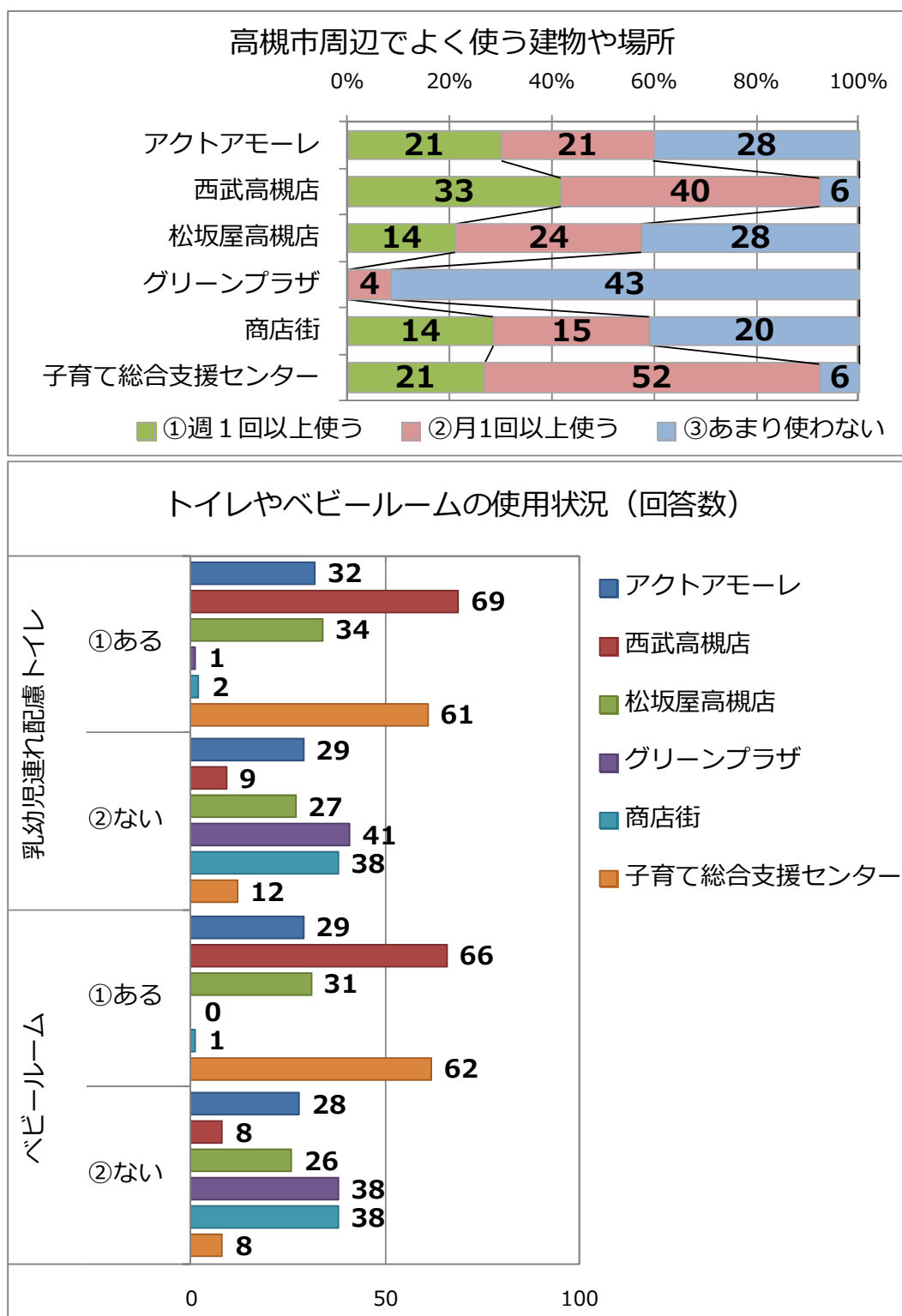
3.3 高槻駅周辺でよく使う建物や場所について

高槻市駅周辺でよく使う建物や場所について、最も多いのは、「西武高槻店」や「子育て総合支援センター」が多い。次に「アクトアモーレ」や「松坂屋高槻店」が多い。

乳幼児連れ利用者に配慮したトイレや授乳室（ベビールーム）が最も使われているのは、「西武高槻店」や「子育て総合支援センター」であり、次に「アクトアモーレ」や「松坂屋高槻店」が多い。

「商店街」では、センター街（6名）、市場（3名）などを利用しているが乳幼児連れ利用者に配慮したトイレや授乳室（ベビールーム）がなく、これらは使われていない。

3. 高槻市における子ども連れへのアンケートについて

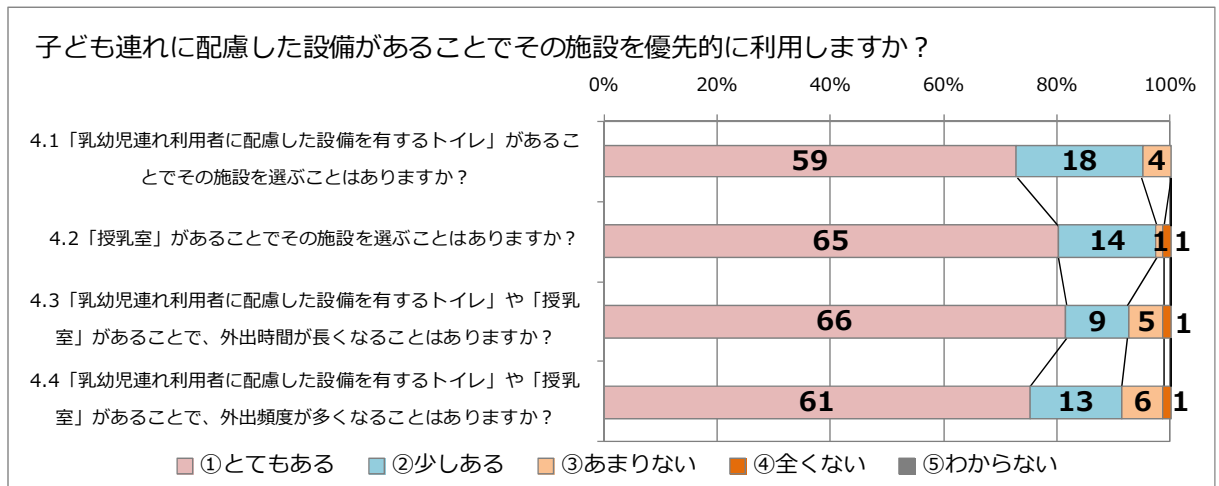


3.4 子ども連れへの配慮やバリアフリー化の評価

3.4.1 子ども連れに配慮した設備があることでその施設を優先的に利用しますか？

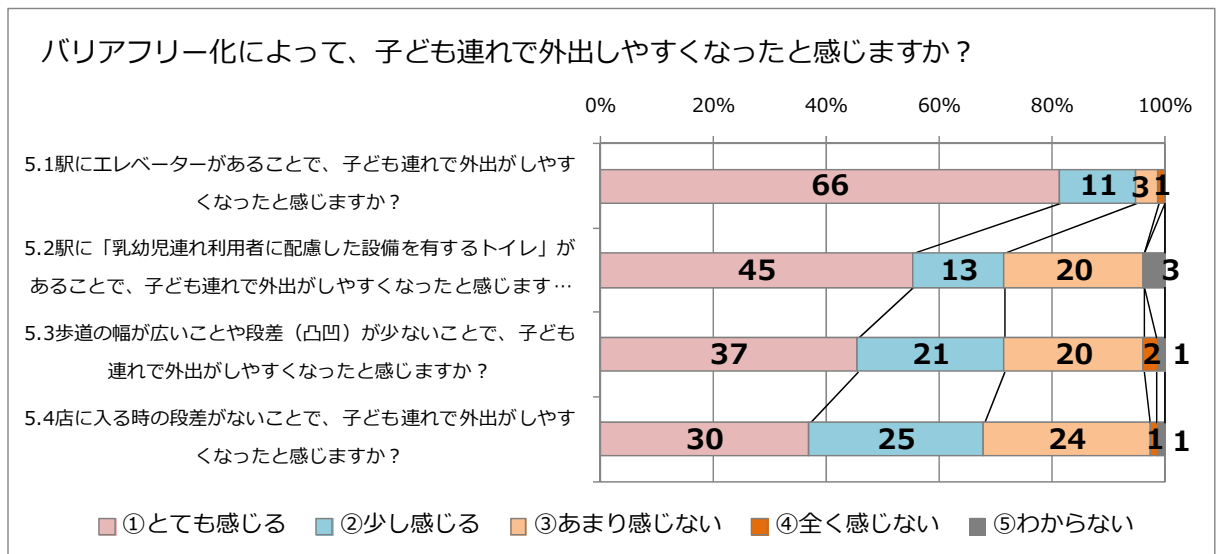
子ども連れに配慮した設備があることでその施設を優先的に利用するかについては、「乳幼児連れ利用者に配慮したトイレ」では7割以上、「授乳室（ベビールーム）」では8割が「とてもある」と回答した。

子ども連れに配慮した設備があることで、「外出時間が長くなる」ことが「とてもある」との回答は8割以上である。「外出頻度が多くなる」に比べると「外出時間が長くなる」の方が「とてもある」の割合が多い。



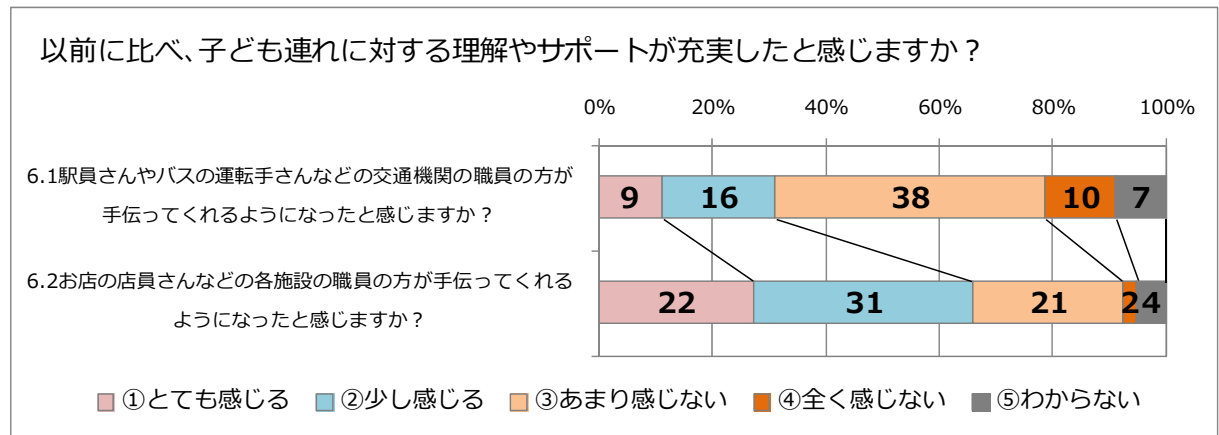
3.4.2 バリアフリー化によって、子ども連れで外出しやすくなったと感じますか

子ども連れで外出しやすくなったと感じるバリアフリー化で最も「とても感じる」が多いのは「駅にエレベーターがあること」であり、8割以上となっている。次いで「駅にトイレがあること」「歩道の幅が広いことや段差が少ないこと」となっている。



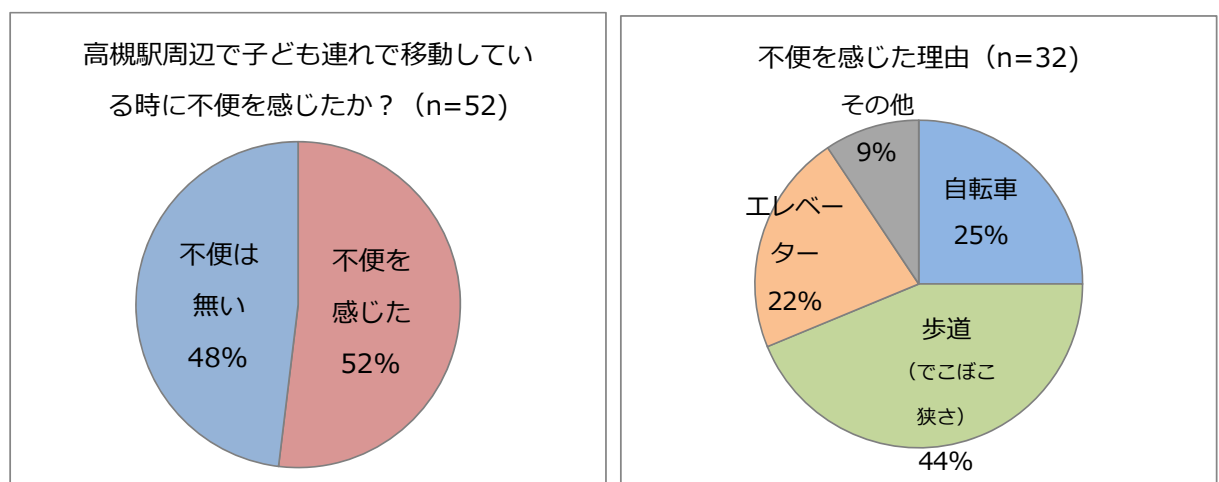
3.4.3 以前に比べ、子ども連れに対する理解やサポートが充実したと感じますか

子ども連れに対する理解やサポートに関しては、「駅員やバスの運転手などの交通機関の職員の手伝い」よりも「お店の店員や施設の職員の手伝い」の方が充実したと感じている割合が高い。



3.4.4 高槻駅周辺で子ども連れで移動している時に、歩道などを通行する上で不便を感じた経験がありますか

高槻駅周辺で子ども連れで移動している時に、歩道などを通行する上で不便を感じた経験については、「不便を感じた」のが 52%であり、その理由は、歩道が狭かったり歩道がでこぼこだったり傾いたりしてベビーカーで通行しづらいという「歩道の狭さや凹凸」44%や、自転車がが多く危険、放置自転車があって歩きにくいといった「自転車」25%に関する指摘や、エレベーターがない、少ない、人が多くてベビーカーで乗れないといった「エレベーター」22%に関する指摘があげられている。



3.5 ベビーカー等を利用して移動する際の経路について

JR 高槻駅、阪急高槻市駅を含む地図を提示し、経路1) 子育て支援センターまでの移動ルート及び経路2) JR 高槻駅と阪急高槻市駅の間を移動する場合に利用するルートについて記入して頂いた。結果として、子育て総合支援センターの前の道を多く利用していることがわかった。

また指摘として「歩道に段差がある」「歩道が石畳になっているので、ベビーカーがガタガタするので、車道を通行してしまう。」「車の往来、自転車も多い。横から横断する自転車もくる」などの指摘があった。

また、センター街については、「センター街の自転車が怖い」「人や自転車が多いので避ける」との指摘があった。

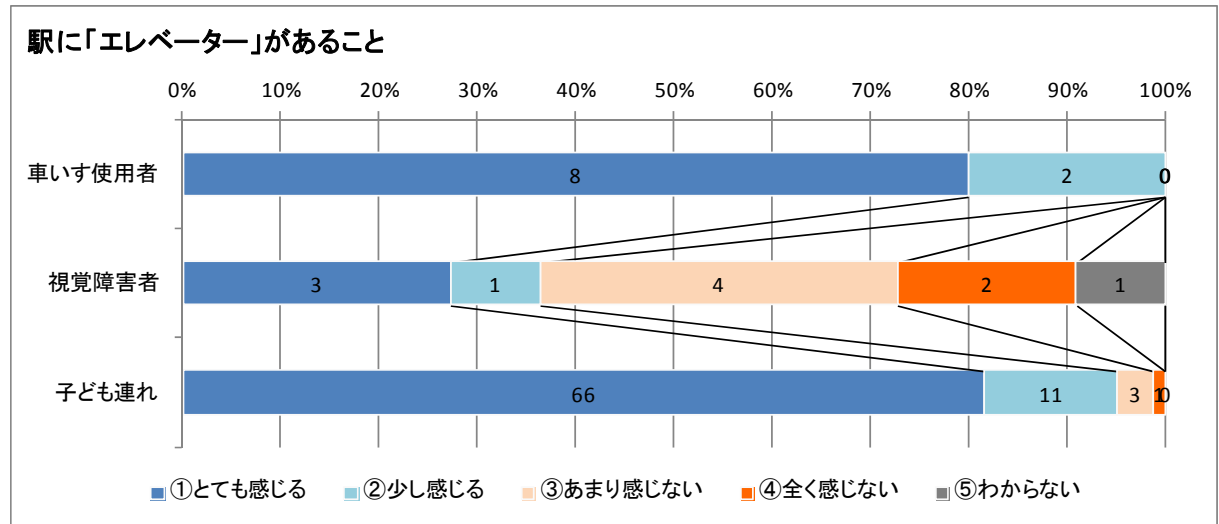


4. 障害者、子ども連れアンケート共通項目の比較

4.1 バリアフリー化によって、外出しやすくなったと感じるか

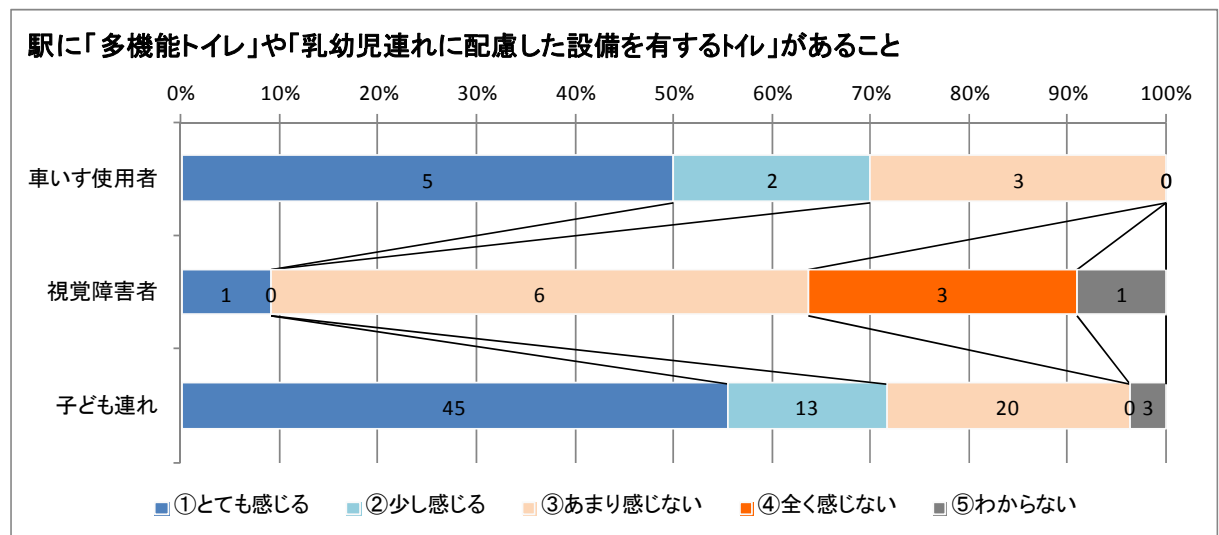
(1) 駅にエレベーターがあること

駅にエレベーターがあることで外出しやすくなったかについて、「とても感じる」との回答は車いす使用者と子ども連れが多い。



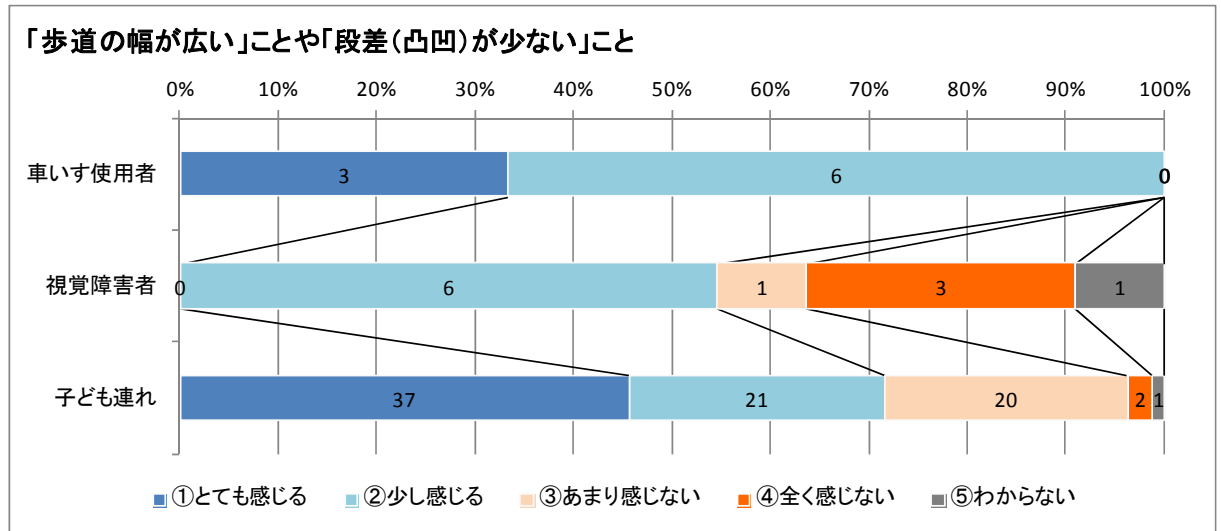
(2) 駅に「多機能トイレ」や「乳幼児連れに配慮した設備を有すトイレ」があること

駅に「多機能トイレ」や「乳幼児連れに配慮した設備を有するトイレ」があることで外出しやすくなったかについて、「とても感じる」との回答は車いす使用者と子ども連れが多い。



(3) 歩道の幅が広いことや段差（凹凸）が少ないこと

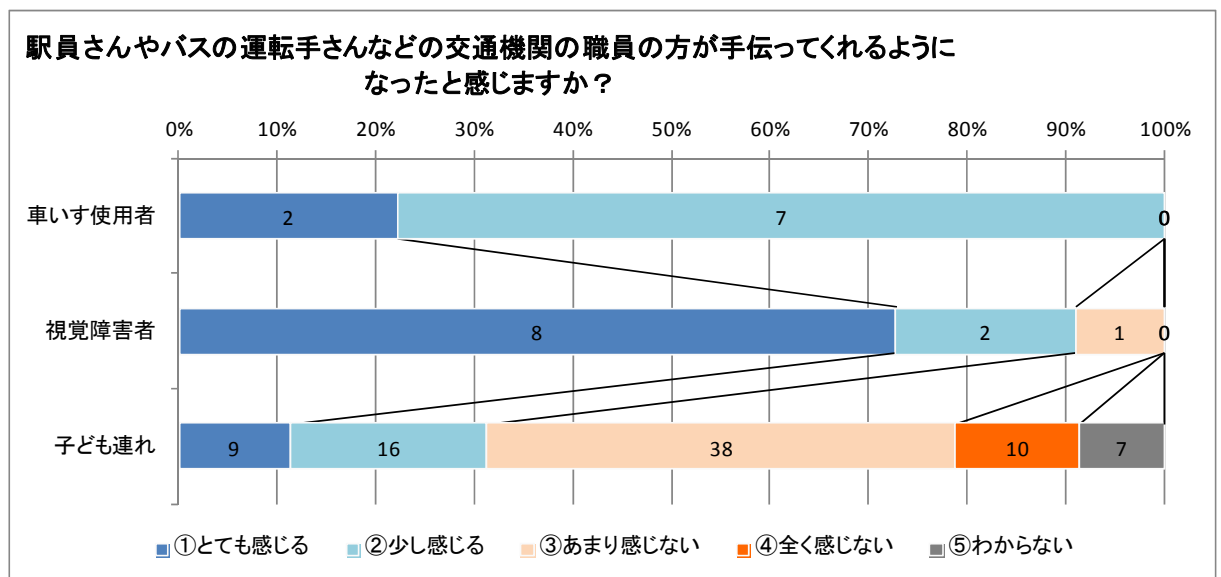
歩道の幅が広いことや段差（凹凸）が少ないことで外出しやすくなったかについて、「とても感じる」との回答は車いす使用者と子ども連れが多い。視覚障害者は「少し感じる」との回答が多い。



4.2 以前に比べ理解やサポートが充実したと感じるか

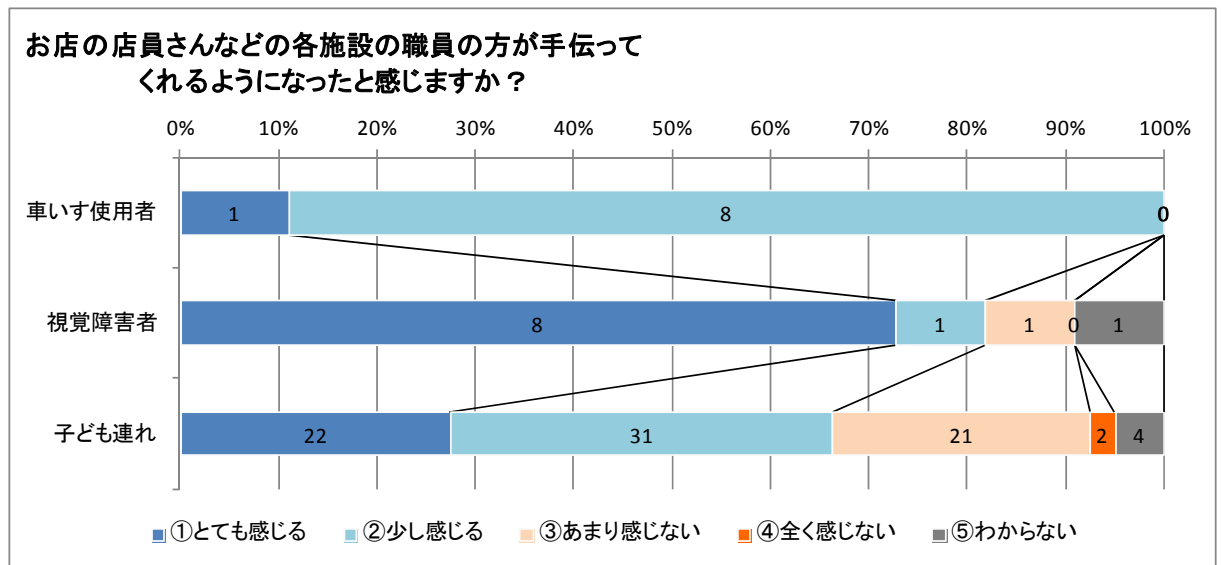
(1) 駅員さんやバスの運転手さんなどの交通機関の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じますか？

駅員さんやバスの運転手さんなどの交通機関の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じるかについて、「とても感じる」との回答は、視覚障害者が最も多い。



(2) お店の店員さんなどの各施設の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じますか？

店の店員さんなどの各施設の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じるかについて、「とても感じる」との回答は、視覚障害者が最も多い。子ども連れも「とても感じる」「少し感じる」を合わせると 65%となる。



5. 参考資料

5.1 障害者に対するアンケート票

1. 外出の状況について教えてください

1-1 普段最もよくいく場所とその理由、外出頻度、交通手段を教えてください。

(1) 最もよく行く場所	☐ 勤務先/ ☐ 病院/ ☐ 公共施設 ☐ ショッピングセンターなど/ ☐ スーパー/ ☐ コンビニ ☐ その他（ ）
(2) 理由（目的）	☐ 通勤 / ☐ 通院 / ☐ 各種手続き ☐ 買い物/ ☐ その他（ ）
(3) 外出頻度	☐ ほぼ毎日/ ☐ 週3日以上/ ☐ 一週間に1回程度 ☐ 月1回程度/ ☐ その他（ ）
(4) 交通手段（あてはまるもの全て）	☐ 電車 / ☐ バス / ☐ 自家用車/ ☐ 徒歩 ☐ その他（ ）

1-2 高槻駅周辺でよく行く場所とその理由、外出頻度、交通手段を教えてください。

(1) 駅周辺でよく行く場所	☐ 西武高槻店 / ☐ 松坂屋高槻店 / ☐ グリーンプラザ（ ）号館 ☐ 商店街 ☐ 高槻病院 / ☐ 愛仁会病院 / ☐ リハビリ病院/ ☐ 大阪医科大学付属病院 ☐ 障害者福祉センター/ ☐ 高槻市役所/ ☐ 高槻市総合センター ☐ その他（ ）
(2) 理由（目的）	☐ 通勤 / ☐ 通院 / ☐ 各種手続き ☐ 買い物/ ☐ その他（ ）
(3) 外出頻度	☐ ほぼ毎日/ ☐ 週3日以上/ ☐ 一週間に1回程度 ☐ 月1回程度/ ☐ その他（ ）
(4) 交通手段（あてはまるもの全て）	☐ 電車 / ☐ バス / ☐ 自家用車/ ☐ 徒歩 ☐ その他（ ）

1-3 上記 1-2 で応えた場所の以下のバリアフリー設備を使いますか？

またその設備は使いやすいですか？

	(1) バリアフリー設備を使いますか			(2) 使いやすいですか				(3) 使いにくい理由について教えてください。
	① 使う	② 使わない	③ そこにない	① とても使いやすい	② 少し使いやすい	③ あまり使いやすくはない	④ 使いにくい	
(1) 出入口の段差解消（スロープ）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
(2) 出入口の自動ドア	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	

	(1) バリアフリー設備 を使いますか			(2) 使いやすいですか				(3) 使いにくい理 由について教え て下さい。
	① 使 う	② 使 わ な い	③ そ こ に な い	① と て も 使 い や す い	② 少 し 使 い や す い	③ あ ま り 使 い や す く な い	④ 使 い に く い	
(3) エレベーター	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
(4) 多機能トイレ	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
(5) 視覚障害者誘導用ブロック	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
(6) 音声による誘導	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
(7) わかりやすいサイン	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
(8) 身体障害者用駐車場	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	

1-4 上記の他に、よく使う、又はとても使いやすいバリアフリー設備があれば教えてください。
()

2-1. バリアフリー設備やサポートがあることで、その施設を選ぶ（優先的に利用する）ことはありますか？

	① と て も あ る	② 少 し あ る	③ あ ま り な い	④ 全 く な い	⑤ わ か ら な い	選んだ施設名を 教えてください
(1) 出入口の段差解消（スロープ）	☐	☐	☐	☐	☐	
(2) 出入口の自動ドア	☐	☐	☐	☐	☐	
(3) エレベーター	☐	☐	☐	☐	☐	
(4) 多機能トイレ	☐	☐	☐	☐	☐	
(5) 視覚障害者誘導用ブロック	☐	☐	☐	☐	☐	
(6) 音声による誘導	☐	☐	☐	☐	☐	
(7) わかりやすいサイン	☐	☐	☐	☐	☐	
(8) 身体障がい者用駐車場	☐	☐	☐	☐	☐	
(9) その施設の職員等の「適切なサポート	☐	☐	☐	☐	☐	

2-2 上記の他に、その施設を選ぶ（優先的に利用する）バリアフリー設備やサポートがあれば教えてください。
()

3-1. 以下のバリアフリー化によって、外出しやすくなったと感じますか？

	①とても 感じる	②少し感 じる	③あまり 感じない	④全く感 じない	⑤わか らない
(1) 駅に「エレベーター」があること	☐	☐	☐	☐	☐
(2) 駅に「多機能トイレ」があること	☐	☐	☐	☐	☐
(3) 駅に「わかりやすい案内」や「音声案内」があること	☐	☐	☐	☐	☐
(4) 「歩道の幅が広い」ことや「段差（凸凹）が少ない」こと	☐	☐	☐	☐	☐
(5) 歩道に「わかりやすい案内」や「音声案内」があること	☐	☐	☐	☐	☐

3-2 上記の他に、外出しやすくなったバリアフリー整備などがあれば教えてください。

()

4. 以前に比べ、障害者に対する理解やサポートが充実したと感じますか？

	①とて も感じ る	②少し 感じる	③あま り感じ ない	④全く 感じな い	⑤わか らない
(1) 駅員さんやバスの運転手さんなどの交通機関の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じますか？	☐	☐	☐	☐	☐
(2) お店の店員さんなどの各施設の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じますか？	☐	☐	☐	☐	☐

4-2 上記の他に、障がい者に対する理解やサポートが充実したと感じたことがあれば教えてください。

()

5. 回答者ご自身についてお答え下さい。(車いす使用の方)

(1) 性別	☐ 男 / ☐ 女
(2) 年代	☐ 10代 / ☐ 20代 / ☐ 30代 / ☐ 40代 / ☐ 50代 / ☐ 60代 ☐ 70代 / ☐ 80代以上
(3) 障がいの程度	☐ 一級 / ☐ 二級 / ☐ 三級 / ☐ 手帳なし
(4) 障がいの種別	☐ 脳性マヒ / ☐ 脊髄損傷 / ☐ 頸髄損傷 / ☐ 筋ジス ☐ その他 ()
(5) 重複障がいの有無	☐ なし ☐ 有り⇒有りの場合は、その障がいを教えて下さい。 (☐ 肢体不自由 / ☐ 視覚障がい ☐ 聴覚障がい / ☐ その他 ()
(6) 使用している車いす	☐ 手動 / ☐ 電動(簡易型) / ☐ 電動(大型) ☐ その他 ()
(7) 外出時の介助者の有無	☐ 介助者の同行はない ☐ 介助者を同行することがある ☐ 介助者が常に同行する ☐ その他 ()

5. 回答者ご自身についてお答え下さい。(視覚障がいの方)

(1) 性別	☐ 男 / ☐ 女
(2) 年代	☐ 10代 / ☐ 20代 / ☐ 30代 / ☐ 40代 / ☐ 50代 / ☐ 60代 ☐ 70代 / ☐ 80代以上
(3) 障がいの程度	☐ 一級 / ☐ 二級 / ☐ 三級 / ☐ 手帳なし
(4) 障がいの種別	☐ 全盲 / ☐ 弱視 ☐ その他 ()
(5) 重複障がいの有無	☐ なし ☐ 有り⇒有りの場合は、その障害を教えて下さい。 (☐ 肢体不自由 / ☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 / ☐ その他 ()
(6) 外出時に携帯するもの	☐ 白杖 / ☐ 盲導犬 ☐ その他 ()
(7) 外出時の介助者の有無	☐ 介助者の同行はない ☐ 介助者を同行することがある ☐ 介助者が常に同行する ☐ その他 ()

5.2 子ども連れに対するアンケート票

高槻駅周辺のバリアフリー化に関する以下のアンケートにご協力をお願いします。

□欄にレのチェックを入れ、下線部はご記入いただく形でご回答下さい。

【1. お子様について】

1.1 今日連れてくるお子様は?	1.2 お子様の性別は?	1.3 お子様の歳(月齢)は?以下にご記入下さい	1.4 おむつの状況		1.5 授乳の状況	
			①使用中	②使用していない	①授乳中	②授乳中ではない
第1子 □	男 □/女 □	__歳__ヵ月	□	□	□	□
第2子 □	男 □/女 □	__歳__ヵ月	□	□	□	□
第3子 □	男 □/女 □	__歳__ヵ月	□	□	□	□
第4子 □	男 □/女 □	__歳__ヵ月	□	□	□	□

【2. ここまでの移動手段等について教えて下さい。(該当するもの全てお答え下さい)】

- ①電 車 (___分) ②バス (___分) ③自家用車 (___分)
 ④自転車 (___分) ⑤徒歩 (___分) ⑥その他 (_____で___分)

また、ベビーカーを使いましたか (□はい/□いいえ)

【3. 高槻駅周辺でよく使う建物や場所を教えてください。】

	3.1 よく使いますか? (頻度)			3.2 乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有するトイレ※		3.3 授乳室 (ベビールーム)		3.4 利用上の問題点があればご記入下さい
	①週1回以上	②月1回以上	③あまり使わない	①使ったことがある	②使ったことはない	①使ったことがある	②使ったことはない	
アクトアモーレ	□	□	□	□	□	□	□	
西武高槻店	□	□	□	□	□	□	□	
松坂屋高槻店	□	□	□	□	□	□	□	
グリーンプラザ (号館)	□	□	□	□	□	□	□	
商店街 (店)	□	□	□	□	□	□	□	
子育て総合支援センター	□	□	□	□	□	□	□	
その他 ()	□	□	□	□	□	□	□	
その他 ()	□	□	□	□	□	□	□	

※「乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有するトイレ」とは、乳幼児用ベッド(おむつ替えシート)や乳幼児用のいすが設置されたトイレやベビーカーとともに入ることが可能なゆとりある広さのトイレのこと。

裏面に続く⇒

【4. 子ども連れに配慮した設備があることでその施設を優先的に利用しますか？】

	①とても もある	②少し ある	③あまり りない	④全く ない	⑤わか らない
4.1「乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有するトイレ」 があることで <u>その施設を選ぶ</u> ことはありますか？	☐	☐	☐	☐	☐
4.2「授乳室」があることで <u>その施設を選ぶ</u> ことはあ りますか？	☐	☐	☐	☐	☐
4.3「乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有するトイレ」 や「授乳室」があることで、 <u>外出時間が長くなる</u> ことは ありますか？	☐	☐	☐	☐	☐
4.4「乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有するトイレ」 や「授乳室」があることで、 <u>外出頻度が多くなる</u> ことは ありますか？	☐	☐	☐	☐	☐

【5. バリアフリー化によって、子ども連れで外出しやすくなったと感じますか？】

	①とても 感じる	②少し感 じる	③あまり 感じない	④全く感 じない	⑤わか らない
5.1 駅にエレベーターがあることで、子ども連れで 外出がしやすくなったと感じますか？	☐	☐	☐	☐	☐
5.2 駅に「乳幼児連れ利用者に配慮した設備を有す るトイレ」があることで、子ども連れで外出がし やすくなったと感じますか？	☐	☐	☐	☐	☐
5.3 歩道の幅が広いことや段差（凸凹）が少ないこ とで、子ども連れで外出がしやすくなったと感じ ますか？	☐	☐	☐	☐	☐
5.4 店に入る時の段差がないことで、子ども連れで 外出がしやすくなったと感じますか？	☐	☐	☐	☐	☐

【6. 以前に比べ、子ども連れに対する理解やサポートが充実したと感じますか？】

	①とても 感じる	②少し感 じる	③あまり 感じない	④全く感 じない	⑤わか らない
6.1 駅員さんやバスの運転手さんなどの交通機関 の職員の方が手伝ってくれるようになったと感じ ますか？	☐	☐	☐	☐	☐
6.2 お店の店員さんなどの各施設の職員の方が手 伝ってくれるようになったと感じますか？	☐	☐	☐	☐	☐

【7. 高槻駅周辺で子ども連れで移動している時に、歩道などを通行する上で不便を感じた経験がありますか？】

☐ 不便を感じた経験がある 例：エレベーター、信号、横断歩道等がなかったため/〇〇に段差があるため 等
 ⇒それはどこですか？次頁の地図に▲印を付けて下さい。
 ⇒どんな理由ですか？()
☐ 特に不便を感じた経験はない

【8. ベビーカー等を利用して移動する際の経路についてお伺いいたします。】

経路1) 子育て支援センターまでの移動ルートをご記入下さい。(地図の範囲内で。車でお越しの場合は駐車場等からのルートをご記入下さい)

経路2) JR 高槻駅と阪急高槻市駅の間を移動する場合に、利用するルートをご記入下さい。

